

章

項 目

特 記 事 項

■ 1. 空調設備概要

■ 2. 給排水衛生設備概要

■ 3. 一般共通事項

■ 1) 熱源設備

■ 2) 空調設備

■ 3) 排煙設備

■ 4) 自動制御

□ 5) その他

(■ 印の付いたものを適用する)
(縦罫を示すもので仕様を特定するものではない)

□冷凍機 (□ターボ □スクロール式 □吸収式 □スクリュース式)
□直焚冷水発生機 (□ガス □油) □ 蒸気式冷水発生機
□温水ボイラ (□調製 □鍋焚製 □減圧型)
□蒸気ボイラ (□鍋焚製 □貯熱貯蓄式 □貫流式)
□ヒートポンプ (□スクロール式 □スクリュース式 □氷蓄熱ユニット)

□全ダクト式 ■ファンコイルユニット、ダクト併用
□パッケージ (□マルチ □シングル □リモコン型)

■自然排煙方式 ()
□機械排煙方式 ()

■空調 (□電気式 □電子式 ■DDC式 □空気式)
□防塵ダンパー (□電気式 □空気式 □機械式)
起動方法 ()
□

(■ 印の付いたものを適用する)
(縦罫を示すもので仕様を特定するものではない)

■ 1) 給水設備
飲料水 (■市水 □井水)
雑用水 (■市水 □井水 □中水 □雨水 □工事用水)
□水道直結式 □高置タンク式 □圧力タンク式 ■ポンプ圧送式 (既設ポンプ利用)

■ 2) 給湯設備
□個別式 -- 熱源 (□電気 □ガス □蒸気) □貯湯式 □瞬間式 □ヒートポンプ式
■中央式 -- 熱源 (□電気 ■ガス □蒸気 □油) □ヒートポンプ式 □CGS熱源水 (既設熱源利用)

■ 3) 排水設備
建家内の汚水と雑排水 (■分流式 □合流式)
■再利用装置 (□有 □無)
■汚水 (□公共下水道 ■浄化槽) (既設浄化槽利用)
■雑排水 (□公共下水道 ■浄化槽 □側溝) (既設浄化槽利用)
■雨水 (□公共下水道 □浄化槽 □側溝)

□ 4) ガス設備
□都市ガス □LPG ■ガス管設備なし。

■ 5) 消火設備
□屋内消火栓 □屋外消火栓 □連結給水管 ■スプリンクラー
□連結散水 □水噴霧消火 □泡消火 □放酸ガス消火
□粉粒消火 □フード用簡易自動消火 □防火水幕
■消火器 (別途工事)

□ 6) 浄化槽設備
□大臣認定品 □築造型 (個別認定品)

□ 7) 厨房設備
□電気 □ガス

■ 8) その他
■医療ガス設備 ■危険物や毒物などの保管はなし。

■ 1) 適用

■ 2) 定義

■ 3) 仕様の指示

■ 4) 優先順位

■ 5) 疑義に対する協議と記録

■ 6) 官公署等への手続き

■ 7) 別契約の関連工事

□ 8) 支給材料

■ 9) 発生材の処理

■ 10) 第三者損害に対する配慮

■ 11) 材 料

■ 12) 材料試験

■ 13) 立会い

1) 特記事項のうちで選択する事項は ■ 印を適用する。

1) この特記仕様書は本工事の仕様についての特記である。
2) ここで述べる設計図書とは質疑回答書・現場説明書・特記仕様書・設計図書の総称である。

1) 本工事の仕様について設計図書に記載 (指示) のない場合は下記仕様書の最新版による。
■ 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) < (社) 公共建築協会 発行 >
■ 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) < (社) 公共建築協会 発行 >
(以下、「標準」という。)
■ 建築工事標準仕様書・同解説 < (社) 日本建築学会 発行 > (以下、JASSという。)

本工事の仕様適用に対する優先順位は下記の通りとする。
① 質疑回答書 ② 現場説明書 ③ 特記仕様書
④ 設計図書 ⑤ 標準およびその他の仕様書

設計図書に不備・不明の箇所を発見し、または疑義が生じたときは直ちに監理者と協議し、その協議の結果について監理者の認証付きの記録書を作成しておくものとする。

本工事に関係ある法令、(条例等を含む広義の法を指す。以下、同じ) を遵守し、必要ある届出、手続きはすべて請負者が行う (但し、建築確認申請は除く)。その手続きに関する費用は請負者負担とする。

別契約の関連工事については、監理者の指示により、当該工事関係者と協力し、工事全体の円滑な進捗を図る。

支給材料・機器および貨物品は、下記リストによる。
□

□ 指示された場所に整理 (残材調書を添えて引渡す。)
■ 産業廃棄物として、関係法令に従い、かつ行政庁の指導をうけ承諾をうけた場所に搬出適切に処理。

本工事の施工により騒音、振動、塵あい、地盤沈下、道路損傷、通行障害等近隣に及ぼす公害が発生しないよう、各種法令を遵守し関連官公庁の指導をうけて進めこと、万一損傷その他の危害が発生した場合は、請負者の負担により速やかに補修および補償をすること。

使用する材料および寸法等はJISおよびJASSの規格品とし本特記仕様書で指定されたメーカーおよび材料以外を使用する場合は同等とし、予め監理者に申し出て承諾をうける。
1) 本工事に使用する建材は、原則として「ゼロアス」の製品・資材とすること。
「ゼロアス」：アスベスト含有0%
2) 代替品が無い等の理由により、1) 以外の製品・資材を使用する場合には、監理者の承諾を得ること。
3) 竣工引渡し書類の「環境配慮事項まとめファイル」にゼロアスも含めてMSDS (製品安全データシート) を入れ、監理者に内容確認の上、施工へ提出・報告する。

工事に使用する材料のうち、設計図書に定められたもの、または監理者の指示のあるものは、公的試験所または監理者の認める試験所で試験を行い、その試験成績書を監理者に提出して、確認を受けなくてはならない。なお、これに要する費用は請負者の負担とする。

本工事の施工にあたって、監理者の立会いを受けなければならない項目は下記のものとする。
■ 指示された施工または試験
■ 各法令に基づく諸官庁の検査

■ 14) 検査

■ 15) 工事区分

■ 16) 提出書類

■ 着工時

■ 工事中

■ 竣工時

■ 17) 工事保証

■ 18) 現場代理人の資格

■ 19) 技能士の適用

■ 20) 監理者事務所

■ 21) 工事用水

■ 22) 工事用電力

■ 23) 工事用仮設物

■ 24) 残土処分

■ 25) 埋め戻し

□ 26) 特記事項

■ 4. 共通工事仕様

■ 1) 案内板

■ 2) 測定表

■ 3) 機器仕様

■ 4) 試算

■ 5) 電動機

■ 6) 電源周波数

■ 7) 耐震措置

本工事の施工にあたって、監理者の検査を受け、承諾を得なければならない項目は下記のものとする。
■ 指示された材料、製品および機器の検査
■ 指示された工区完了時点での中間検査
■ 竣工検査

取り合い工事区分は、別紙工事区分表とする。
設備機器の位置、取り合いなどの検討できる資料を関連機器と調整の上、総合図を提出し、監理者の承諾をうける。

工事の準備・着工・進行・完成に際して、下記に指示する図書については遅滞なく作成し監理者に提出すること。
提出部数 ■ 3部 (発注者・監理者・施工者共用) □

■ 工事請自契約書 ■ 請自代金内訳書 ■ 損害保険証書 ■ 工事着手届
■ 主任技術者および現場代理人届 ■ 専門技術者届 ■ 工事現場編成届
■ 現場常駐職員届 ■ 工事工程表 ■ 仮設計図面

■ 下請業者承諾書および一覧表 ■ 機器・材料製造者承諾書および一覧表
■ 工事記録報告書
■ 日報 ■ 週報 ■ 月報 ■ 工事進捗表 ■ 就業状況 ■ 搬入材・使用材状況
■ 工事記録写真

■ 施工計画書 ■ 施工要領書 ■ 施工図・機器製作図 ■ 総合図 ■ 試験・検査報告書
■ 現場打合せ記録
■ 申請・届け出書類一覧表および同座 ■ 出来高調書および承諾書・請求書
■ 変更工事見積書

■ 自主検査報告書 ■ 工事完了届 ■ 竣工引渡書および受領書
■ 図書明細書および受領書
■ 検査済証 ■ 使用許可書 ■ 申請書・届出書 ■ 保証書 ■ 機器取扱説明書
■ 備品類明細書および受領書
■ 鍵および鍵箱 ■ 備品 ■ 予備品 □ 工具および工具箱 ■ 標準図
■ 保安工事連絡一覧表
■ 竣工図
■ 原因 ■ 製本 ■ A3判縮小製本 ■ 修正CADデータ (CD-ROM)
■ 竣工図製本 ■ 竣工写真 (指定アルバム) (DWG・DXF・JWW)

竣工引渡し後、瑕疵の担保期間内において工事不良のため生じた損害は、請負者の負担において、敏速、丁寧に復旧するものとする。

つぎの資格を有するものとする。
■ 管工事施工管理技士 (■ 1級 □ 2級)
□ 建築設備士

本工事に当該職種別技能士を適用する。
■ 配管技能士 ■ 冷凍空調調和機器施工技士
■ 熱地埋施工技能士 (保温工事) ■ 建築板金技能士 (ダクト製作及び取り付け)

□ 設ける (□ 敷地内 □ 敷地外) ■ 設けない (備品)

施設内既存の施設 □ 利用できない ■ 利用できる (■ 有償 □ 無償)

施設内既存の施設 □ 利用できない ■ 利用できる (■ 有償 □ 無償)

構内に設けることが ■ できる □ できない

■ 構外に搬出適切処理
□ 構内指示の場所に敷集し整地
□ 構内指示の場所に堆積

■ 掘切り土の中の良質土 (ただし管の周囲は山砂)
□ 山砂の類

□
□
□
□
□

■ 5. 病院改修の留意点

■ 6. 改修工事のステップ

■ 1) 騒音・振動対策

■ 2) 臭気対策

■ 3) 工事中の環境汚染管理

■ 4) 工事中の作業時間

医療を行っている箇所に隣接している工事範囲では十分な騒音対応を行う。
■ 工事範囲全域 ()
■ 日稼では騒音発生工事は土日工事とする。
■ 工事範囲では必要な音を立てない。特に下階への振動発生に留意する。
■ 金属の切断などは改修工事範囲では行わない。外部の指定された場所で行う。
■ 解体時など床に解体材を投げない。すべて手渡しとする。
■ フォ等の施工は事前に設備と調整し施工計画を作成する。その後病院の了承を得、施工する。
■ フォはすべて「ダイヤモンド」無振動工法とする。

騒音と同じく十分な臭気対策を行う。
■ 現場塗装は原則行わない。
■ 木口は原則工場塗装とする。

粉塵の拡散防止を考慮した工事中の環境汚染管理を行う。
1) 工事区域外への塵あいの侵入の防止、2) 患者区域への塵あい拡散の防止、
3) 工事エリア内の空気管理を主要な項目とする。

1 防護壁の設置
■ 適合範囲：工事範囲全域
工事区域から患者ケア区域への塵あいの進入を防止するため防護壁を設ける。(詳細図参照)
床～天井面：
天井内：
扉：
■ LGS65下地石膏ボード二重貼り (片面)
■ LGS下地は床・天井面に両面テープ貼り
■ 床・壁・天井との取り合い部はテープ貼り (塵あい拡散防止)
■ 工事に用いる二重貼り
■ 床・壁・天井との取り合い部はテープ貼り (塵あい拡散防止)
■ 原則設けない。設ける場合は鋼製W800xH2,000程度。

2 工事区域内の空気管理
■ 適合範囲：工事範囲全域
a. 工事区域内は常に陰圧を保つ。工事区域内の窓は原則密閉とし、工事区域内の排気ダクトを患者ケア区域から離れた場所で開催する。
b. ダクト解放場所を決定するために患者ケア区域の空気取り入れ口が近辺にないか確認する。
c. 工事区域内のダクト解放口には必要に応じHEPAフィルターを設置する。
d. 工事区域内に外部から入室する場合、患者ケア区域の窓が開放され塵あいが入らないようにする。

7月中旬～8月末 (夏休み期間中) は、外来患者数が増加するため、原則平日昼間の作業を禁止する。

■ 8) 構造安全性

■ 9) 保 温

■ 10) はつり

■ 11) 他工事との取り合い

■ 12) 機器塗装色の指定

■ 13) 機器配管等の取付

■ 14) 蓄熱槽施工管理

■ 15) 防火区画貫通部措置

■ 16) その他

□ 一般の施設におけるKS

設置場所	地階及び1階	中間階	上層階、屋上及び塔屋
重要機器	0.6 / 1.0 / 1.0	1.0 / 1.5 / 1.0	1.5 / 2.0 / 1.5
重要以外	0.4 / 0.6 / 0.6	0.6 / 1.0 / 0.6	1.0 / 1.5 / 1.0

■ 特定・一般の判別に關しては、(建築大臣官庁官庁官廳監督 官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説) にて確認する。

4) 重要機器は次のものを示す
■ 給水装置 ■ 排水装置 ■ 換気機器 ■ 空調機器
■ 燃費機器 (火を使用するもの) ■ 防災設備
□ 危険物貯蔵装置 □ 火を使用する設備 □ 避難経路上に設置する機器

5) 各種吊金物
■ 鋼材に固定する金物は、挟み込形状のものとし、振動により脱落しない構造とする。
■ 振止め材は固定状況により適正な位置に設けること。
■ 振止め金具はボルト固定タイプとし、繰り返しの振動に対し、必要十分な耐力を持つこと。
■ 天吊機器100kg以上の吊材はアングル聚合とし、振動により脱落しない構造とする。

建築物に設ける建築設備にあつては、構造耐力上安全なものとして以下の構造方法による。
■ 建築設備 (昇降機を除く。)。建築設備の支持構造部及び緊結金物は、買又は買材のおそれがないものとする。
■ 屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支弁を設けたものを除き、90cm以下とすること。
□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さも5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
■ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
■ 建築物の部分を通過して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等、有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
■ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
■ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
■ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突その他これらに類するものにあつては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

1) 「繕仕」によるほか下記による。ただし各工事種目で別に指定されたものは除く。又、保温材は原則としてグラスウールとする。

2) ダクトの保温外装は下記による。

屋 倉庫・書庫	■アルミガラスクロス	□アルミホイルペーパー＋カラー金網
内 各階機械室	■アルミガラスクロス	□アルミホイルペーパー＋カラー金網
露 主 機 械 室	■アルミガラスクロス	□アルミホイルペーパー＋カラー金網
出 居室・廊下など	■カラー亜鉛鉄板	□アルミニウム板
屋内暖べい、DS内	□アルミホイルペーパー＋カラー金網	■アルミガラスクロス
屋外露出、多湿箇所 ()	■ステンレス鋼板	□カラー亜鉛鉄板
	□ガルバリウム鋼板	

3) 配管の保温外装は下記による。(冷媒管は除く)

屋 倉庫・書庫	■アルミガラスクロス	□アルミホイルペーパー＋カラー金網
内 各階機械室	■アルミガラスクロス	□アルミホイルペーパー＋カラー金網
露 主 機 械 室	■アルミガラスクロス	□アルミホイルペーパー＋カラー金網
出 居室・廊下など	■綿布	□アルミガラスクロス
屋内暖べい、DS内	□アルミホイルペーパー＋カラー金網	■アルミガラスクロス
屋外露出、多湿箇所 ()	■ステンレス鋼板	□カラー亜鉛鉄板
	□樹脂被ダクト	□ガルバリウム鋼板

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。構造上影響を及ぼさないよう適切に処理を行うこと。

スリーブ、箱入りその他他工事との取り合いは、別紙工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明記し、監理者と打ち合わせる。

原則として製造者標準色とするが、下記の機器については塗装色の指定を行う。
□有圧扇フード □空調屋外機 ■ベントキャップ □消火栓ボックス

■屋外露出部の機器・配管等取付のための支持架台・金物は、溶融亜鉛メッキとする。同用ボルト・ナット等は、ステンレスとする。取付に際しては、異種金属絶縁を確実に行うこと。
■機械室及び屋上の床上配管には、点検が容易に出来るように監理者の指示により部分的にデッキ等を取付けること。

□蓄熱槽の清掃、水張り試験後、満水状態で水質測定を行い、基準値を満足していることを確認すること。
□蓄熱槽系の配管フラッシングは、蓄熱槽以外フレッシュな用水を確保し、又、蓄熱槽以外の排水を確保して行うこと。

防火区画・防火上主要な間仕切壁を貫通する管は、建築基準法に適合した工法にて処置すること。貫通部分及び両側1mを不燃材料、若しくは国土交通大臣認定工法とし、隙間は砂等の不燃材で充填すること。

天井点検口裏面に点検用途の表示を行う (関連用途をまとめること)
既存との接続部については、事前に現地調査を行うこと。

APPD. 田中正

CHKD. 中川

DWN. 吉岡

DATE 2014.3.31

SCALE (A3) -

JOB.NAME 静岡県立こども病院外来区域改修工事

TITLE 給排水衛生設備 特記仕様書(1)

DWG.NO. M-02

IIAE 株式会社 日立建設設計

装 複 写 無 断 厳 禁 止
Copyright © 2014 HAE All rights reserved

REVISION

設 計 仕 様 概 要 表

工 事 名

静岡県立こども病院外来区域改修工事

建 築 主

住 所

〒420－8660 静岡県静岡市葵区湫山860

氏 名

地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院長 瀬戸 嗣部
〒420－8660 静岡県静岡市葵区湫山860－1外12番
静岡県静岡市葵区湫山3－7地先水路の一部

電 話

054－247－6251

工 事 場 所

敷 地 条 件

1) 用途地域

☐低住専（ 種）

☐中高住専（ 種）

☐住居（ 種）

☐近隣商業

☐商業

☐準工業

☐工業

☐工専

☒指定なし

市街化調整区域 都市計画区域内

2) 地域地区

☐法22条地域

☐指定なし、防火地域

☒指定なし

☐防火地域

☐準防火地域

3) 容積率

（基準 200 %≧ 58.57%）、建ぺい率（基準 60+10 %≧ 24.52%）

4) 日影規制

（ 4 時間、2.5 時間）、受影面高（平均地盤面+ 4 m）

（ 時間、 時間）、受影面高（平均地盤面+ m）

5) 高さ規制

☐有（ m）

☒無

、道路斜線制限（☒有（ 1 ： 1.5 ）☐無）、隣地斜線制限（☒有 31 m+（ 1 ： 2.5 ）☐無）、高度地区：（ 第 種高度地区）

6) 前面道路

（名称：こども病院前線（4号指定道路） 幅： 7.29～17.12 m、名称：

幅： m、名称：

幅： m）

7) 駐車場

（ 台）

8) 自然環境、特殊条件

☐塩害

☐地盤沈下

☐寒冷地

☐接地難（アース）

☐その他（ ）

建 物 概 要

主要用途

☒（ 08260 病院 ）

☐避難拠点に使用する

工事種別

☐新築

☒増築

☐改築

☐模様替

☐用途変更

規 模

1) 面積

敷地面積 92,028.85 m²（建築面積 m²）（延べ面積 m²）

2) 階数

地上 階 地下 階 塔屋 階

3)

1階床高（設計GL+ m）

軒高（設計GL+ m）

最高部高（設計GL+ m）

設計GL（平均地盤+ m）

1階床高（平均地盤+ m）

軒高（平均地盤+ m）

最高部高（平均地盤+ m）

構 造

☐S造

☐SRC造

☒RC造

☐W造

☐CB造

杭

☐有

☒無

増築予定

☐有

☒無

工期

2015 年 月 日より 2015 年12月22日迄とする。

全体工事範囲

☐ 建築本体工事

☐ 昇降機設備工事

☐ その他工事

☐ 別途工事

下記建築概要による

☐ 空調換気設備工事

☐ 電気設備工事

☒ 給排水衛生設備工事

☐ 既存昇降機遮断改修工事

その他

面 積 表

申請部分

既存部分

除却部分

小 計

合 計

敷地面積との比率

敷地面積

m²

m²

92,028.85 m²

建築面積

m²

m²

m²

m²

22,561.73 m²

建ぺい率 24.52 %

延床面積

m²

m²

m²

m²

54,528.21 m²

延床面積（容積対象）

m²

m²

m²

m²

(53,901.15) m²

容積率 58.57 %

建ぺい率計算式

22,561.73 m²

/

92,028.85 m²

=

24.52 %

容積率計算式

(53,901.15) m²

/

92,028.85 m²

=

58.57 %

階 別 / 工事別

A棟

B棟

C棟

3階

48.64 m²

160.14 m²

208.78 m²

50.47 m²

m²

2階

838.48 m²

526.88 m²

1,365.36 m²

257.19 m²

m²

1階

1,336.92 m²

526.88 m²

1,863.80 m²

257.19 m²

374.75 m²

床面積

2,224.04 m²

1,213.90 m²

3,437.94 m²

564.85 m²

374.75 m²

延べ面積（容積対象）

(2,224.04) m²

(1,213.90) m²

(3,437.94) m²

m²

m²

建築面積

m²

562.27 m²

m²

m²

昇降機設備仕様書

種別 / 仕様

定員・積載量

速度

特記事項

人乗 / k g

m / min

案 内 図

工事場所

1. 設計主旨

1) 計画

利用者にも、スタッフにも利用しやすい施設

2) 構造

3) 電気

環境に配慮した照明器具等の選定を積極的に行う。

4) 機械

省エネルギーに主眼を置き、高効率な機器を積極的に採用する。

5) 環境配慮設計※ISO14000、HAE EMSによる、「環境配慮設計チェックシート」参照

2. 避難・防災

防災計画書

☐有 ☒無

防火対象物:消防法施行令別表第1 6 項 イ

耐火建築物

☐該当なし

☒耐火建築物

☐準耐火建築物

☐義務

☐自主

防火区画

☐該当なし ☐用途区画 ☐階別区画 ☐面積区画（1500m²区画） ☐壁穴区画 ☐防火戸

防煙区画

☒500m²区画 ☐防煙垂壁 ☐自然排煙設備 ☐機械排煙設備

内装制限

☒要 ☐否 ※詳細は内装仕上げ表による

避難経路

☒避難階（1 階） ☒2方向避難 ☐避難バルコニー、避難ハッチ ☐避難滑り台 ☐避難器具

屋内階段（壁穴区画）

☒屋内階段 ☐屋外階段 ☐特別避難階段 ☐敷地内通路

非常用出入口

☐避難バルコニー ☒代用出入口

防災設備

☐中央監視盤 ☒自動火災報知設備 ☒非常放送 ☒非常照明 ☒避難誘導灯 ☐避難針 ☐連結送水管

屋内消火栓

☒スプリンクラー ☒消火器 ☐消火用水槽 ☐非常電源 ☐非常用エレベーター

構造性能

☒耐震構造 ☐制震構造 ☐免震構造 ☐床面重条件（3900N/m²） 詳細は構造図による

安全係数（☐1.0 ☒1.5） 設備機器耐震措置（建築設備耐震設計施工指針最新版による）

無窓階

☐有 ☒無 「消防法施行令第10条第1項第5号による」

その他

☐（ ）

3. 設備概要

1) 電気設備概要

☒屋内配電線路設備

☒屋内弱電線路設備

☒屋外灯設備

☒受変電設備

☒自家発電設備

☒直流電源設備

☒幹線動力設備

☒電灯コンセント設備

☒電話配管設備

☒屋内交換設備

☒電気時計設備

☒放送設備

☒テレビ共聴設備

☒表示設備

☒インターホン設備

☒自動火災報知

☐避雷針設備

☐機械警備設備

☐監視制御設備

☐その他（ ）

2) 空調設備概要

熱源設備（ ）

空調設備（ ）

換気設備

自動制御

排煙設備（ ）

床暖房設備

☐その他（ ）

3) 給排水衛生設備概要

☒給水設備

☒給湯設備

☒排水設備

☒衛生器具設備

☐ガス設備

☒消火設備

☐厨房機器設備

☐浄化槽設備

☒その他（医療ガス設備）

4. その他設備概要

☐AV機器設備

☐舞台設備

☒昇降機設備

☐機械警備

☐イントラ

☐その他（ ）

5. 別途工事等

☒家具、什器備品

☒消火器（ABC粉末10型： 本）

☐カーテン

☐ブラインド

☒撤去

☒引越等の家具・什器・備品の移転、移設

☒電話工事

☐確認申請手数料（設計料、申請料）

☒設計変更手数料（設計料、申請料）

☐中間検査（図致 図、有料）

☐完了検査（有料）

☒その他（ AV機器（配管は電気工事） ）

☐サイン工事

☒電話機器

☒セキュリティ

☒電気設備工事

☒空調換気設備工事

☒給排水衛生設備工事

6. 施工条件

☒既存建物使用継続 ☐夜間工事の禁止 ☐休日工事の禁止 ☒近隣（静岡神経医療センター ）

☒既存改修工事 ☐その他（ ）

☒既存改修工事がある場合には標準仕様書（ 建築改修工事 標準仕様書（平成25年版）に準ずる。

（ 電気設備改修工事 標準仕様書（平成25年版）

（ 機械設備改修工事 標準仕様書（平成25年版）

☒増築工事や既存改修工事等の施工計画書を、監督職員に提出・承諾を得る。

☒特に既存建物の営業、活動を継続しながらの工事は、下記内容を含め施主・監督職員と協議すること。

☒騒音、臭気（防水、塗装等）の発生する工事の時期・期間 ☒避難経路の変更（工事中及び完成後共）

☒既存改修工事範囲の特定、養生方法、仮囲い設置時期・期間

☐既存との段差の解消方法、ケール等の配管量、配管・配線の繋ぎ方法

☐水の侵入防止処置（雨水及び必要場合は建物内消火設備水等）

☐火気使用時期・期間、消火対策、責任者 ☒埋設配管類の調査、掘削方法、交通の遮断時期・期間

☒防火区画等の変更がある場合、その対策、責任者、係員の配置等

☒停電、防災機器の停止などの期間、その間の災害発生時の対策、責任者、係員の配置等（その期間 必要な仮置き消火器等必要な設備を含む）

☐その他（ ）

7. 適用法規

☒各法規にはその法規の施工令、施行規則、関連告示・通達等を含む

☒環境関連法規は、HAE「環境法規制チェックシート」参照

☒建築基準法 ☐工場地法 ☒都道府県条例 ☒医療法 ☐自然公園法 ☐駐車場法 ☐学校教育法 ☐都市計画法 ☐騒音規制法 ☐養護老人ホーム及び特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準

☒消防法 ☐旅館業法、ホテル業法 ☐水質汚濁防止法 ☐大気汚染防止法

☐景観条例 ☒バリアフリー法又は福祉の町づくり条例 ☒建築物における衛生的環境の確保に関する法律

☐急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律 ☒エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）

☒計量法 ☐危険物の規制に関する政令

☐その他（ ）

8. 適用規程規格他

☒基本建築関係法令集 ☒建築工事標準仕様書 ☒建築工事監理指針 ☒建築物の構造規定

☒建築基礎構造設計規程同解説 ☒鉄筋コンクリート構造計算規程同解説 ☒鋼構造設計基準

☒建築工事標準仕様書同解説（J A S S 5 鉄筋コンクリート工事） ☒機械設備工事標準仕様書

☒空気調和衛生設備工事標準仕様書 ☒機械設備工事監理指針 ☒電気設備工事標準仕様書

☒国土交通省建築工事積算基準 ☒電気設備工事監理指針 ☐開発指導要綱

☐本件で必要な外部文書 ☐

工事区分表

■は本工事該当項目
○は本工事該当区分

項 目		建 築 電 気 機 械						備 考
		D 建 築	C 外 構	EV 昇 降 機	E 電 気	P 電 機 器	A 空 調	
A 躯体及び付属								
<input type="checkbox"/>	高架水増用コンクリート基礎	○						鉄骨架台はP
<input type="checkbox"/>	屋上設置の冷凍機、冷却塔、排煙機の コンクリート基礎	○						鉄骨架台はA
<input type="checkbox"/>	屋上設置の変電キュービクル、 発電機のコンクリート基礎	○						鉄骨架台はE
<input type="checkbox"/>	広告塔、ネオン、看板の基礎及びアンカー	○						
<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外の機器の基礎及び仕上げ				○	○	○	図示以外は必要部所が担当
<input type="checkbox"/>	屋上機械基礎の防水及びシーリング	○						防水にからむ基礎のみ
<input type="checkbox"/>	機械室、電気室等の床軽量コンクリート	○						
<input type="checkbox"/>	配線配管ビットのフタ、縁金物及び仕上げ	○						
<input type="checkbox"/>	防油堤	○						
<input type="checkbox"/>	埋設オイルタンクの基礎、隔壁及び充填砂					○		
<input type="checkbox"/>	煙突（煙道を除く）のライニング及び掃除口	○						
<input type="checkbox"/>	重量機器の搬入・搬出用フック	○						
<input type="checkbox"/>	重量機器の床等の補強	○						
<input type="checkbox"/>	発電機点検用！ビーム及びチェーンブロック				○			
<input type="checkbox"/>	屋外設置の受水槽基礎					○		
<input type="checkbox"/>	屋外設置のキュービクル基礎	○						
<input type="checkbox"/>	屋外設置のキュービクル基礎廻り ネットフェンス	○						
<input type="checkbox"/>	屋上設備架台床組み（メンテナンスデッキ）	○						
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
B 穴明け及び補強								
<input type="checkbox"/>	鉄骨梁の貫通スリーブ及び同補強	○						
<input checked="" type="checkbox"/>	RC梁の貫通スリーブ及び取付				○	○	○	（必要部所が担当、取付は 建築へ依頼すること）
<input checked="" type="checkbox"/>	RC床、壁の設備関係穴明け、 穴埋め及び仕上げ	○			○	○	○	（必要部所が担当、仕上げは 建築へ依頼すること）
<input checked="" type="checkbox"/>	同上の防水層を貫通する場合の防水処理	○						
<input checked="" type="checkbox"/>	同上の外壁等を貫通する場合の 開口部枠外側シーリング処理	○			○	○	○	（必要部所が担当、仕上げは 建築へ依頼すること）
<input checked="" type="checkbox"/>	RC床梁、壁の開口補強	○						
<input checked="" type="checkbox"/>	金属板、ALC、ボード、PC板等の 設備関係切り込み穴明け及び補強				○	○	○	（必要部所が担当、仕上げは 建築へ依頼すること）
<input checked="" type="checkbox"/>	天井の埋込設備器具用の穴明け 天井下地枠及び下地補強	○			○	○	○	（必要部所が担当） 下地補強は建築
<input checked="" type="checkbox"/>	空調ダクト下の天井吊り金具同補強						○	
<input type="checkbox"/>	防火区画上の未使用スリーブ塞ぎ	○						
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
C 断熱・防音								
<input type="checkbox"/>	耐火被覆の加工箇所の補強工事	○	○	○	○	○	○	（各加工業者が担当）
<input type="checkbox"/>	機械室等の遮音、吸音工事（屏、吸音壁共）	○						宿泊室含む
<input type="checkbox"/>	地下水槽、蓄熱槽関係断熱工事	○						
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								

項 目		建築電気機械						備 考
		D	C	EV	E	P	A	
		建 外 架	構 造	昇 降 機	電 気	衛 生	空 調	
D 化粧仕上げ								
<input type="checkbox"/>	光天井等建築化粧照明の枠組、 内部反射板及び仕上げ	○						
<input type="checkbox"/>	システム天井、複合天井等の関係 下地枠組、T・Yバー、見切板、天井板							
<input type="checkbox"/>	システム天井、複合天井、及び 複合照明器具のアネモ・エアコネクター							
<input type="checkbox"/>	システム天井、複合天井の照明器具設備 プレート							
<input type="checkbox"/>	ファンコイル、パッケージ等の既製品 以外の化粧カバー（吹出、吸入口を含む）							
<input type="checkbox"/>	電話交換室のフローリング・ビット							
<input type="checkbox"/>	フロアダクト用ジャンクションプレートの タイル貼り	○						
<input type="checkbox"/>	排水幹、ハンドホール等 化粧フタの仕上りタイル貼り	○	○					
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
E 点検口								
<input type="checkbox"/>	ビット関係マンホールフタ、クワップ	○						
<input checked="" type="checkbox"/>	床、壁及び天井の点検口	○						
<input checked="" type="checkbox"/>	トレンチ、シャフトの点検口及び扉	○						
<input type="checkbox"/>	EVシャフト感知器の点検口及び扉	○						
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
F 出入口								
<input type="checkbox"/>	防火扉のリリース、煙感知器、制御盤 及びその配線				○			
<input type="checkbox"/>	防煙垂壁及びシャッターの開閉装置	○						
<input type="checkbox"/>	電動シャッターの駆動スイッチ、制御盤 押しボタン及びその二次側配管、配線	○						
<input type="checkbox"/>	オートドア電源ボックス以後の二次側 配管、配線（センサーも含む）	○						一次配線はE
<input type="checkbox"/>	電気錠システムの錠、制御盤及び相互配線	○						制御システムは別途工事
<input type="checkbox"/>	入退室、管理システムのセンサー錠 制御盤及び相互配線				○			制御盤、管理システムは 別途工事
<input type="checkbox"/>	防犯センサー						○	器具に組込むものの取付は 建築工事
<input type="checkbox"/>	エアカーテン、吹出口及び運転スイッチ						○	
<input type="checkbox"/>	シャッター 水圧開放装置	○						
<input type="checkbox"/>	セキュリティシステム電気錠、電源	○			○			制御システムは別途工事
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
G 水槽								
<input type="checkbox"/>	湧水、排水、消火、冷却水槽等 地下水槽の躯体、及び内外仕上げ	○						
<input type="checkbox"/>	地下水槽の連通管	○						
<input type="checkbox"/>	各種水槽内点検用クワップ（SUS）	○						
<input type="checkbox"/>	各種水槽の通気管	○						
<input type="checkbox"/>	防火水槽			○				
<input type="checkbox"/>	雨水貯留槽・浸透槽			○				
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								

項 目		建築電気機械						備 考	
		D	C	EV	E	P	A		
		建	外	昇	電	衛	空		
		架	構	降	気	生	調	主	
H 排水									
<input type="checkbox"/>	軒樋、堅樋、屋内雨水管（防露共）、 ルーフレイン	○							継受マス・U字溝等接続配
<input type="checkbox"/>	堅樋受附		○						
<input type="checkbox"/>	屋外雨水排水溝（フタ共、流末接続配）		○						
<input type="checkbox"/>	屋外排水幹（フタ共）及び排水管					○			
<input type="checkbox"/>	屋内排水溝の縁金物、内部仕上げ及びフタ	○							
<input type="checkbox"/>	樋の電気ヒーター				○				
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
I 水廻り									
<input checked="" type="checkbox"/>	造付け流し台、既製品の流し台、防水バン ガス台、バスユニット、洗面ユニット	○							番付、化粧カバーも建築工事
<input checked="" type="checkbox"/>	既製品の鏡及び既製品の化粧棚					○			
<input checked="" type="checkbox"/>	既製品以外の鏡及び化粧棚	○							
<input checked="" type="checkbox"/>	衛生設備付属品（ペーパーホルダー、石鹸入れ）					○			
<input checked="" type="checkbox"/>	便所手摺り	○							補強共 建築工事
<input checked="" type="checkbox"/>	身障者便所の鏡					○			既製品以外は建築工事
<input checked="" type="checkbox"/>	ステンレス流し台取付のトラップ	○							オーバーフロー共設置のこと
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
J 換気									
<input type="checkbox"/>	吸排気用外部ガフリ（壁付）	○							
<input type="checkbox"/>	ダクト接続型外部ガフリ（フランジ共）（壁付）	○							
<input checked="" type="checkbox"/>	給排気用内部ガフリ、ドアガフリ （防火シャッター付）	○							ドアガフリのみD
<input checked="" type="checkbox"/>	換気扇等の取付枠	○							
<input checked="" type="checkbox"/>	換気扇等のウェザーカバー						○		
<input type="checkbox"/>	SFD本体の取付及び閉鎖装置						○		
<input type="checkbox"/>	同上煙感連動制御及び配線					○			
<input type="checkbox"/>	ダクト接続型外部換気孔						○		
<input checked="" type="checkbox"/>	排気用ファン						○		
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
K 排煙									
<input checked="" type="checkbox"/>	排煙トップライト、防煙垂壁の開放装置	○							
<input type="checkbox"/>	排煙口連動用制御盤、煙感知器及び相互配線					○			
<input type="checkbox"/>	ダクト内、防煙、防火ダンパー及び閉鎖装置					○			
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>					</				

項 目		建 築		電 気		機 械		施 主	備 考
		D	C	E	P	A			
		建	外	昇 降 機	電 機 生	空 調			
L 昇降機・クレーン等									
■	中間ビームの設置工事	○							
■	レールブケット固定用ファスナー設置工事			○					
□	機械室の軽量コンクリート打設、 穴明け及び仕上げ	○							
■	敷居コンクリート持出し及び乗場、 機器取付後の出入口廻り仕上げ	○							
■	三方枠、敷居取付用下地及び 三方枠取付後の裏埋め	○							
■	各階押ボタン及び乗場表示灯の 取付用穴開け、下地及び穴埋め	○							
□	機械室内の手元スイッチ及び エレベーター制御盤一次端子迄の電源配線				○				
■	既設エレベーター中央監視盤の改造及び配管配線			○	○				
□	エレベーター機械の基礎	○							
□	エレベーター機械室の断熱	○							
■	インターホンの昇降路外の配線				○				建客外は別途電気工事
□	クレーン用トロリー								クレーン工事
□	クレーン用ストッパー								
□	クレーン用レールガード								リフト車輪用精度確保、 紫ざ目溶接
□	クレーン用トロリー安全カバー								クレーン工事
□	クレーン運動扉及びシャッター								クレーン工事
□									
□									
M 監視・制御									
□	合併浄化槽の制御盤及び二次側の 電動機端子迄の配線								
□	消火ポンプユニット、給水ユニット等の 制御盤及び二次側配線				○				
■	監視盤に組込む空調用の計測記録、機器類					○			
■	電気計測用検出器具、その交換器				○				
■	同上交換器（盤）より監視盤迄の配線				○				
□	冷凍機、冷水ポンプ、冷却水ポンプ、冷却塔 循環ポンプ等のインターロック連動系統配線					○			
□	同上の遠方操作及び遠方表示用記録								
■	空調動力制御盤より空調自動制御盤への 電源供給					○			
□	ボイラーの感震装置、緊急遮断及びその配線								
□	オイルサービスタンク及び液面感知器								
□	煙導の煙濃度監視装置の表示盤 （遠方表示接点付）感知器及びその記録								
□	各種水槽の液面感知器及び配線				○				
■	火災発信機併設型の消火栓 （架台、穴空け、加工共）				○				
□	屋根、樋、床の凍結防止ヒーター 制御盤及び二次側配線								
□	配管類の凍結防止ヒーター、制御盤及び 二次側配線								（必要部所が担当）
□									
□									
N その他									
■	正規メーター取付後の電気・水の基本料金						○		施主負担
■	正規メーター取付後の電気・水の使用料金	○		○	○	○	○		関係業者の共同負担
■	消火器ボックス	○							
■	消火器本体						○		（ABC粉末10型：12本）
■	各種負担金						○		
■	什器・備品						○		
□									
□									

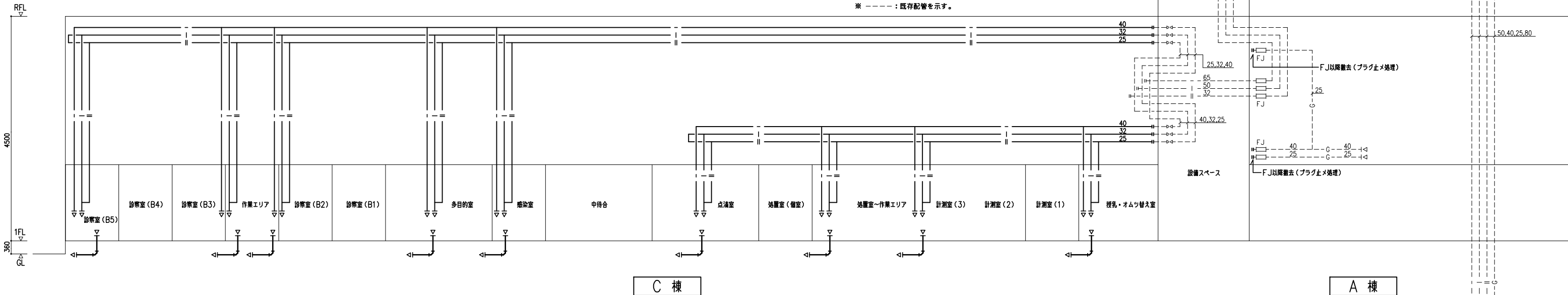
衛生器具一覽表

[illegible]

凡 例

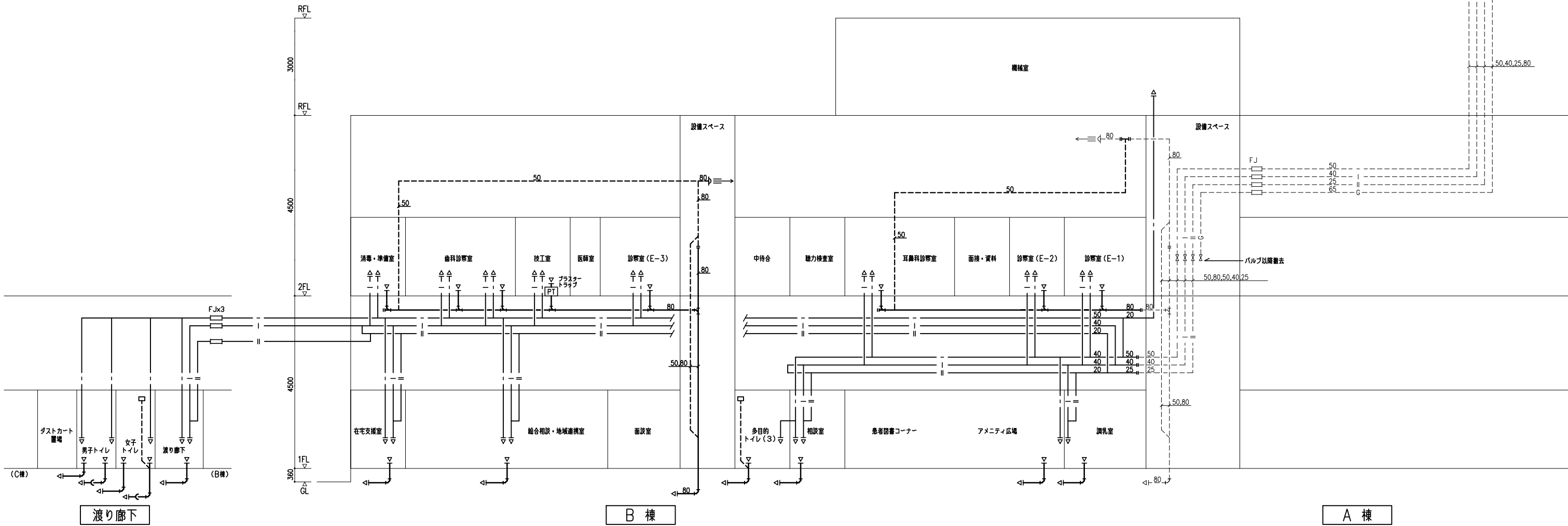
記 号	種 類	備 考
——	給水管（上水）	
—— I ——	給湯管（往）	
—— II ——	給湯管（還）	
——>——	污水管	
——	雑排水管	
- - - - -	通気管	

※ 配管材料は特記仕様書による。
※ - - - - - : 既存配管を示す。



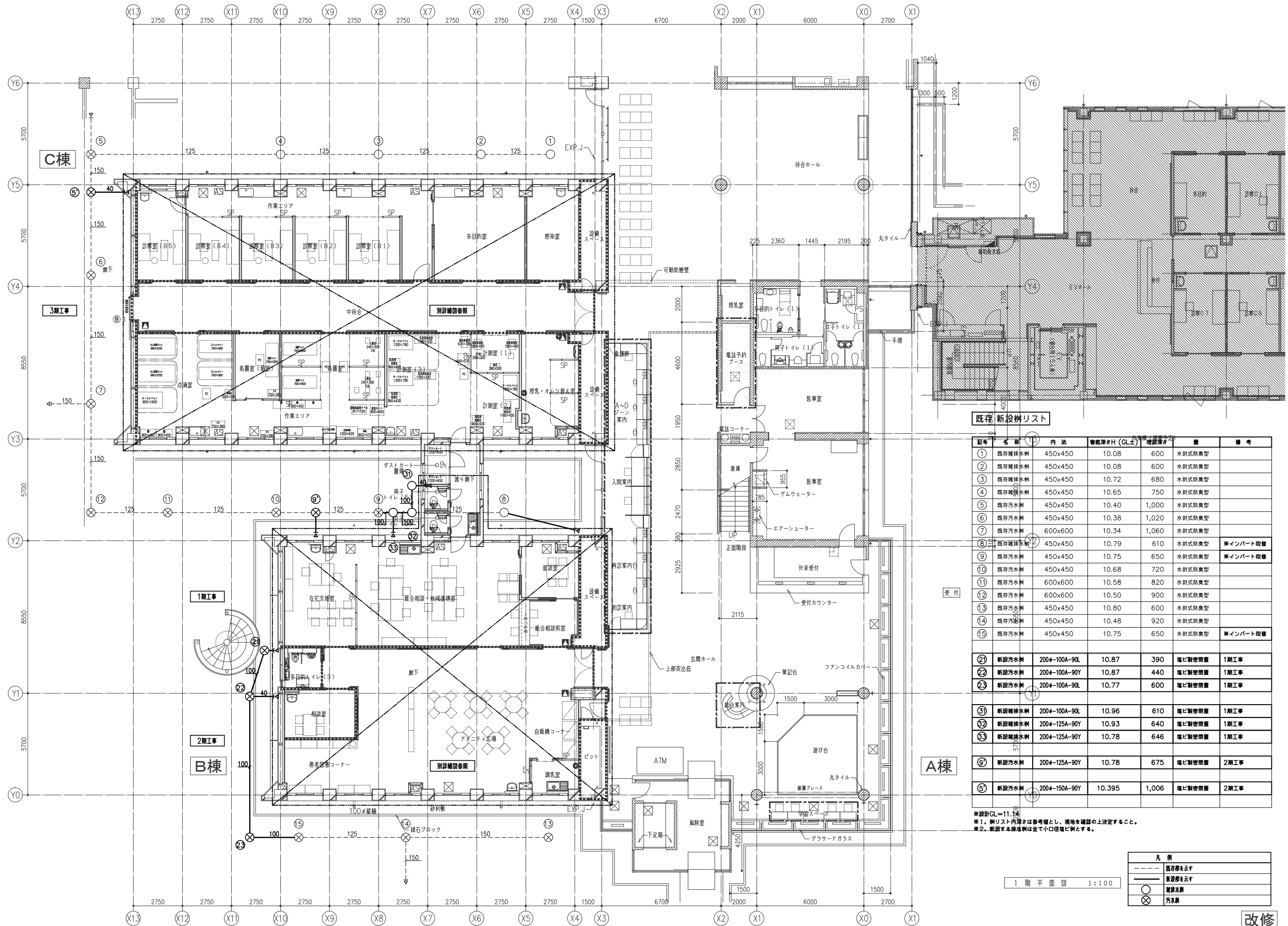
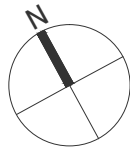
C 棟

A 棟



B 棟

A 棟



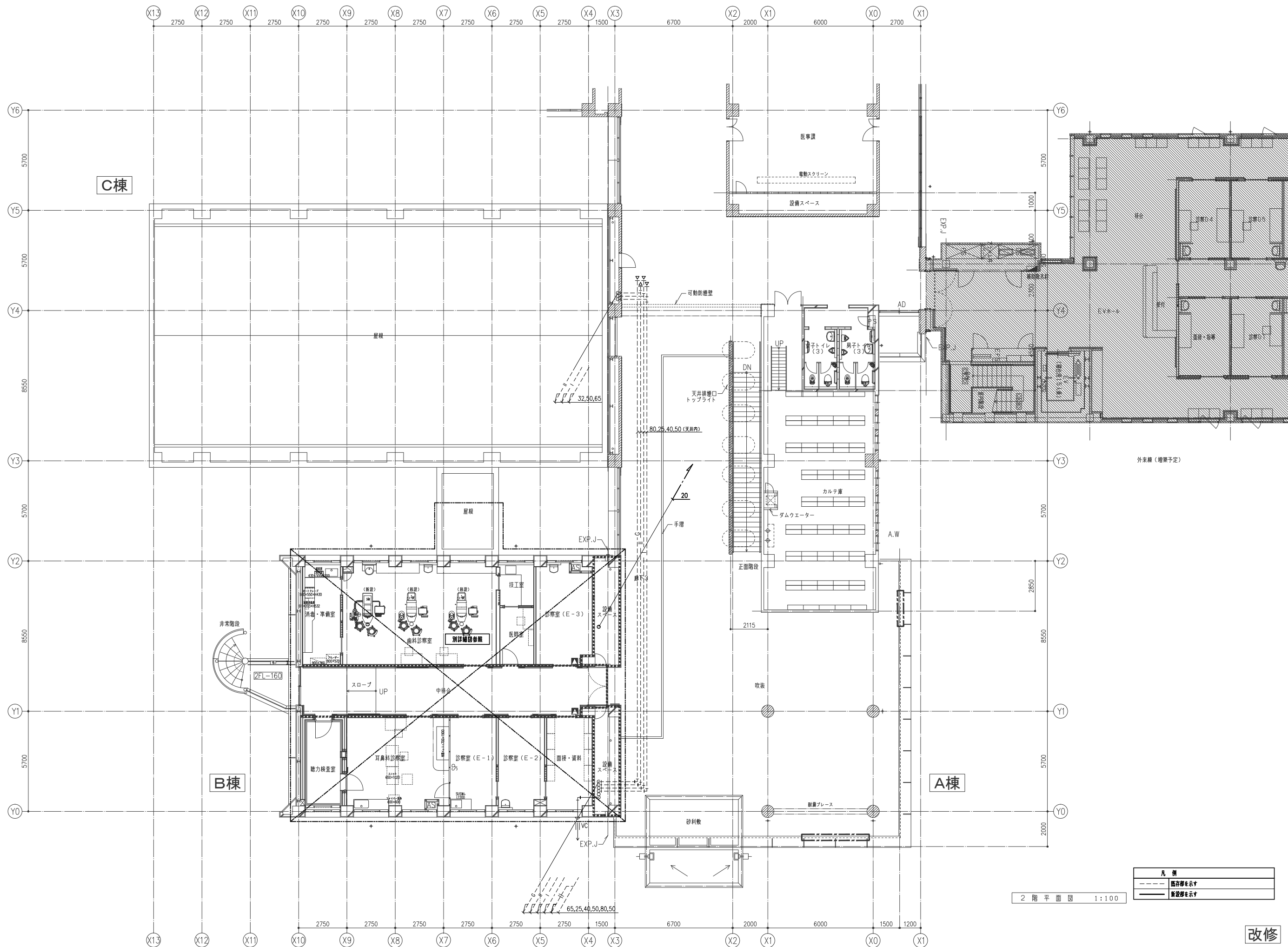
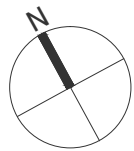
既存・新設樹リスト					
記号	名称	内法	管底深さH (GL±)	埋設深さ	備考
①	既存雑排水樹	450x450	10.08	600	水封式防臭型
②	既存雑排水樹	450x450	10.08	600	水封式防臭型
③	既存雑排水樹	450x450	10.72	680	水封式防臭型
④	既存雑排水樹	450x450	10.65	750	水封式防臭型
⑤	既存汚水樹	450x450	10.40	1,000	水封式防臭型
⑥	既存汚水樹	450x450	10.38	1,020	水封式防臭型
⑦	既存汚水樹	600x600	10.34	1,080	水封式防臭型
⑧	既存雑排水樹	450x450	10.79	610	水封式防臭型 ※インポート改修
⑨	既存汚水樹	450x450	10.75	650	水封式防臭型 ※インポート改修
⑩	既存汚水樹	450x450	10.68	720	水封式防臭型
⑪	既存汚水樹	600x600	10.58	820	水封式防臭型
⑫	既存汚水樹	600x600	10.50	900	水封式防臭型
⑬	既存汚水樹	450x450	10.80	600	水封式防臭型
⑭	既存汚水樹	450x450	10.48	920	水封式防臭型
⑮	既存汚水樹	450x450	10.75	650	水封式防臭型 ※インポート改修
⑰	新設汚水樹	200φ-100A-90L	10.87	390	塩ビ製密閉型 1期工事
⑱	新設汚水樹	200φ-100A-90Y	10.87	440	塩ビ製密閉型 1期工事
㉑	新設汚水樹	200φ-100A-90L	10.77	600	塩ビ製密閉型 1期工事
㉒	新設雑排水樹	200φ-100A-90L	10.96	610	塩ビ製密閉型 1期工事
㉓	新設雑排水樹	200φ-125A-90Y	10.93	640	塩ビ製密閉型 1期工事
㉔	新設雑排水樹	200φ-125A-90Y	10.78	646	塩ビ製密閉型 1期工事
㉕	新設汚水樹	200φ-125A-90Y	10.78	675	塩ビ製密閉型 2期工事
㉖	新設汚水樹	200φ-150A-90Y	10.395	1,006	塩ビ製密閉型 2期工事

※設計GL=11.14
※1. 樹リスト内深さは参考値とし、現地を確認の上決定すること。
※2. 新設する排水樹は全て小口径塩ビ樹とする。

凡 例	
---	既存部を示す
---	新設部を示す
○	雑排水樹
⊗	汚水樹

1 階 平 面 図 1:100

改修

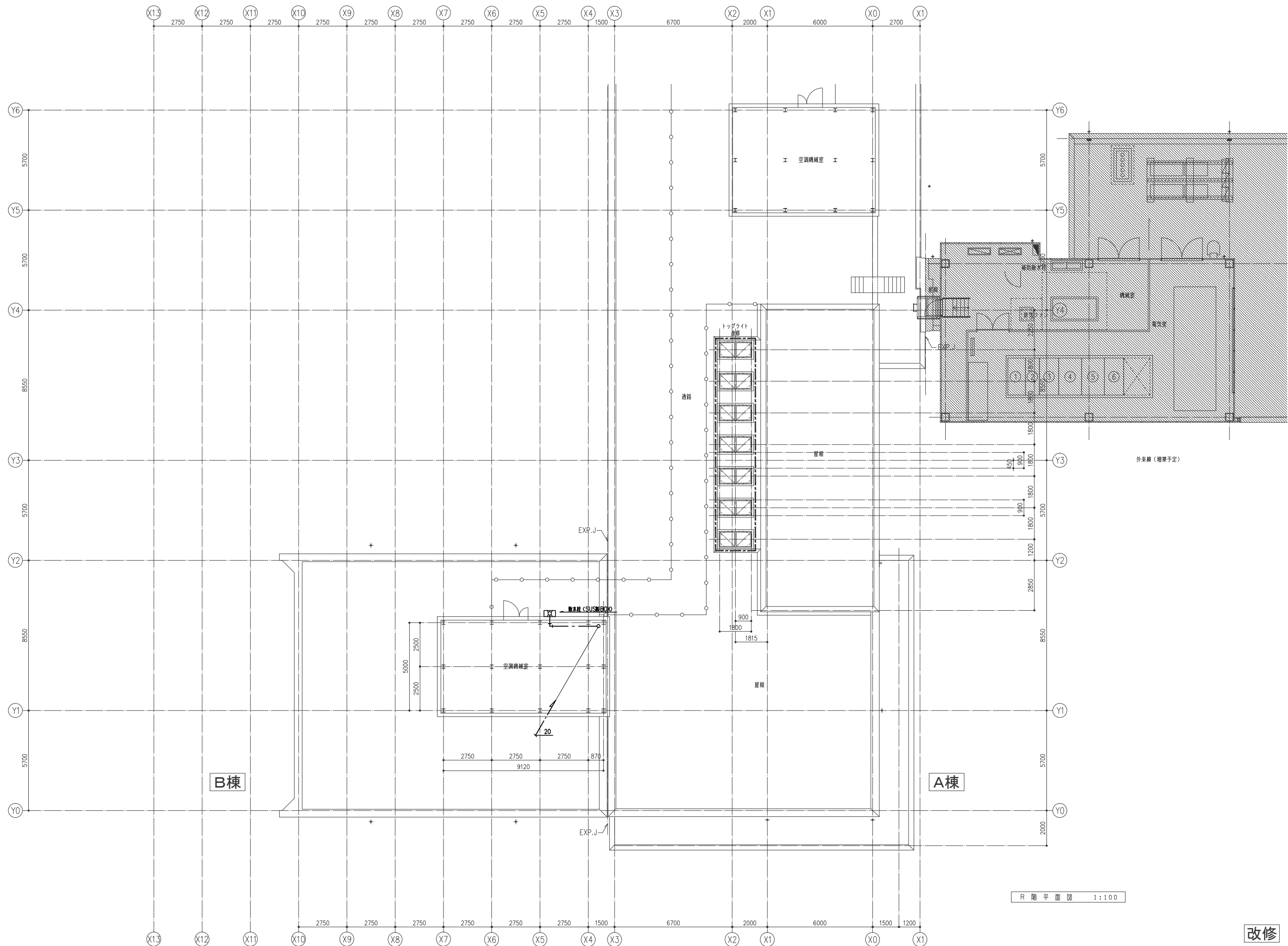
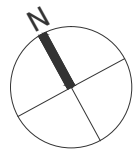


凡 例	
---	既存部を示す
---	新設部を示す

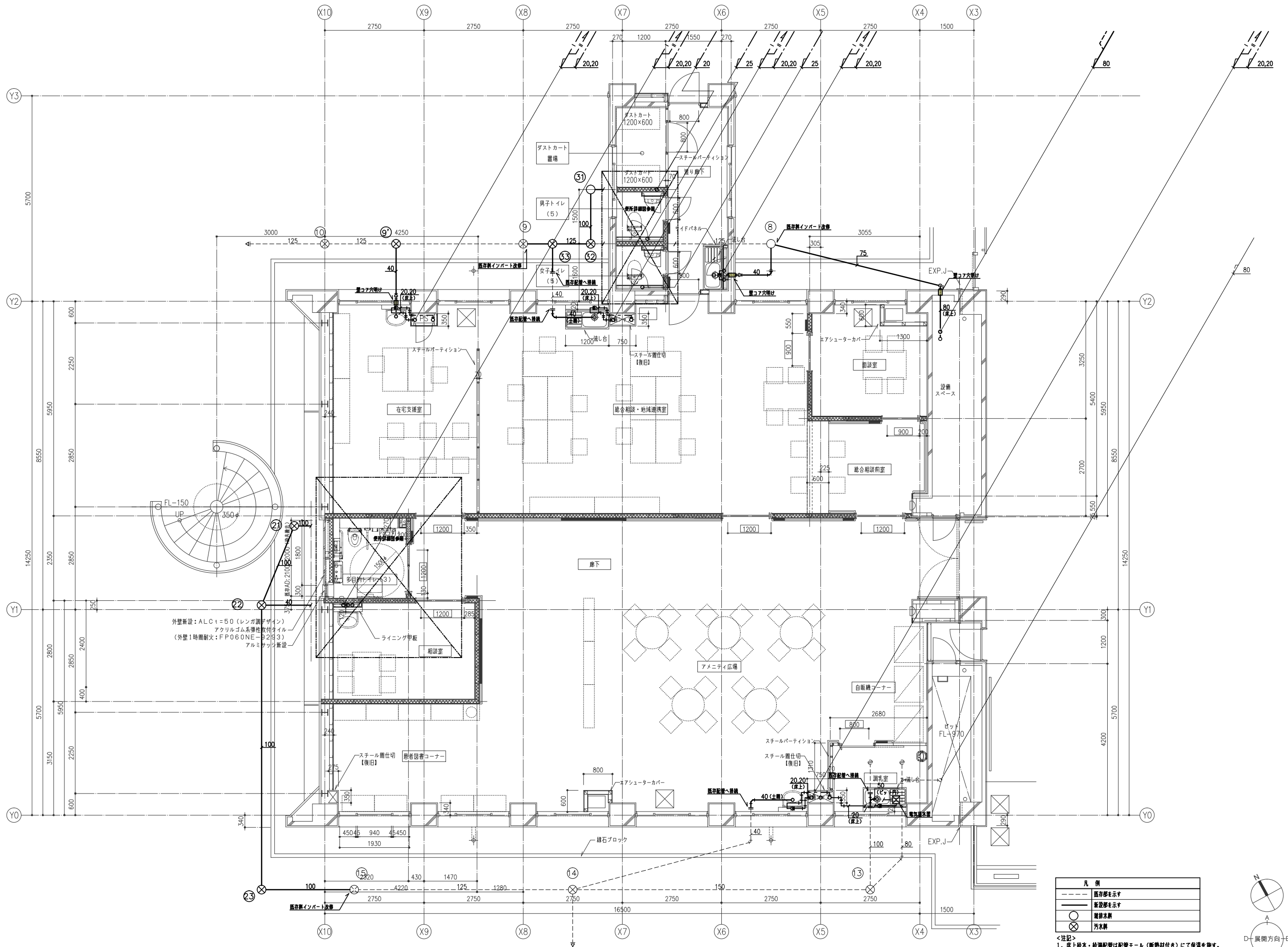
2 階 平 面 図 1:100

改修

IAE 株式会社 日立建設設計 Copyright © 2014 IAE All rights reserved	禁 複 写 無 断 転 載 禁 止 Copyright © 2014 IAE All rights reserved	REVISION	APPD. 田中正	CHKD. 中川	DWN. 吉岡	DATE 2014.3.31	JOB NAME 静岡県立こども病院外来区域改修工事	DWG. NO. P-04
						SCALE 1:100 (A3) 1:200	TITLE 給排水衛生設備 2階平面図【改修】	

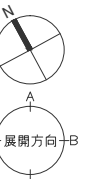


改修

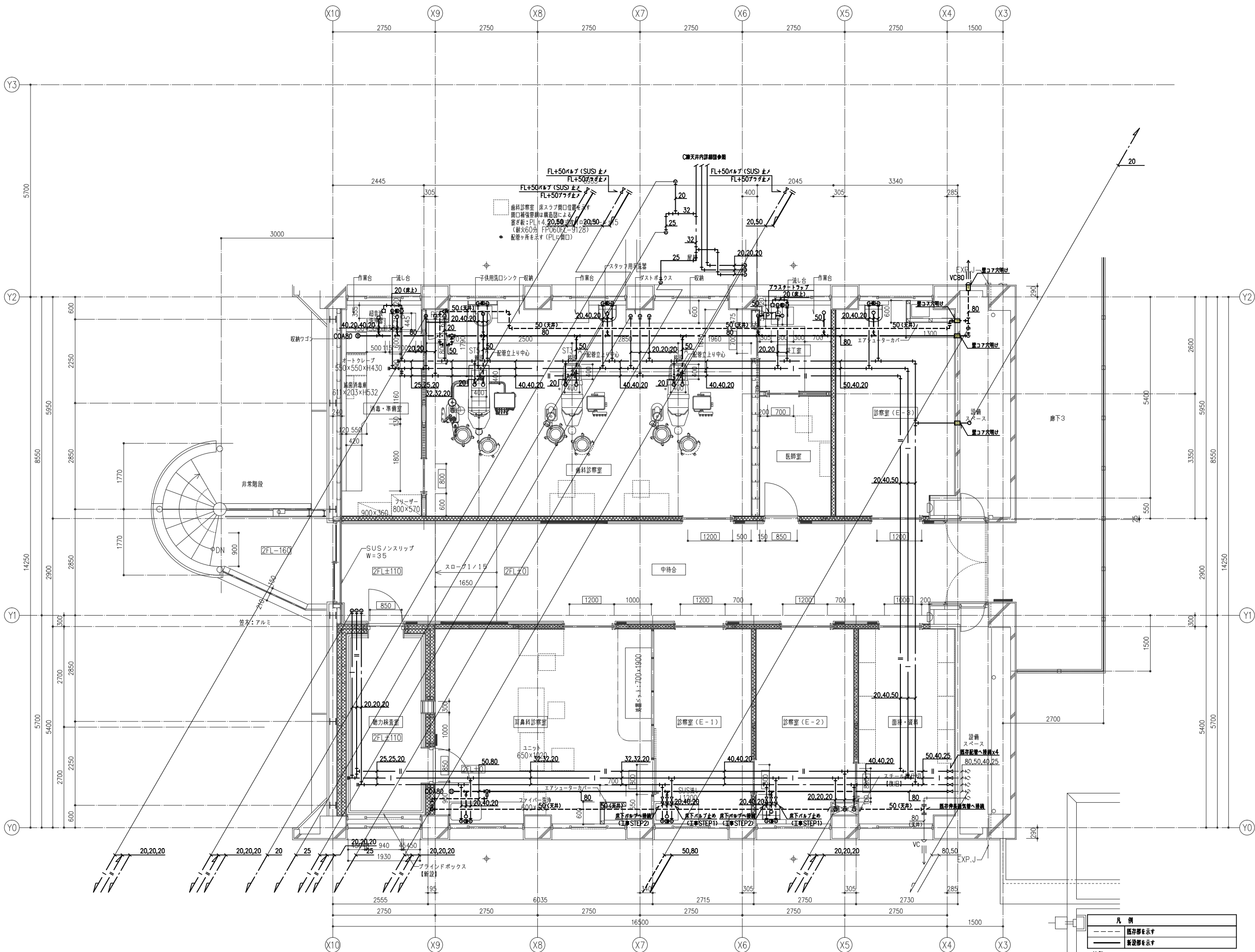


凡 例	
---	既存部を示す
---	新設部を示す
○	建築水素
⊗	汚水素

<注記>
1. 床・給水・給湯配管は配管モール（断熱材付き）にて保温を施す。
2. PSから分岐する配管には分岐弁を設ける。

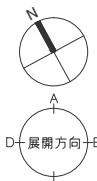


改修



凡 例	
---	既設部を示す
---	新設部を示す

<注記>
1. 特記無き限り床下配管を示す。
2. PSから分岐する配管には分岐弁を設ける。

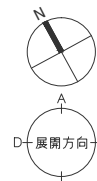


改修

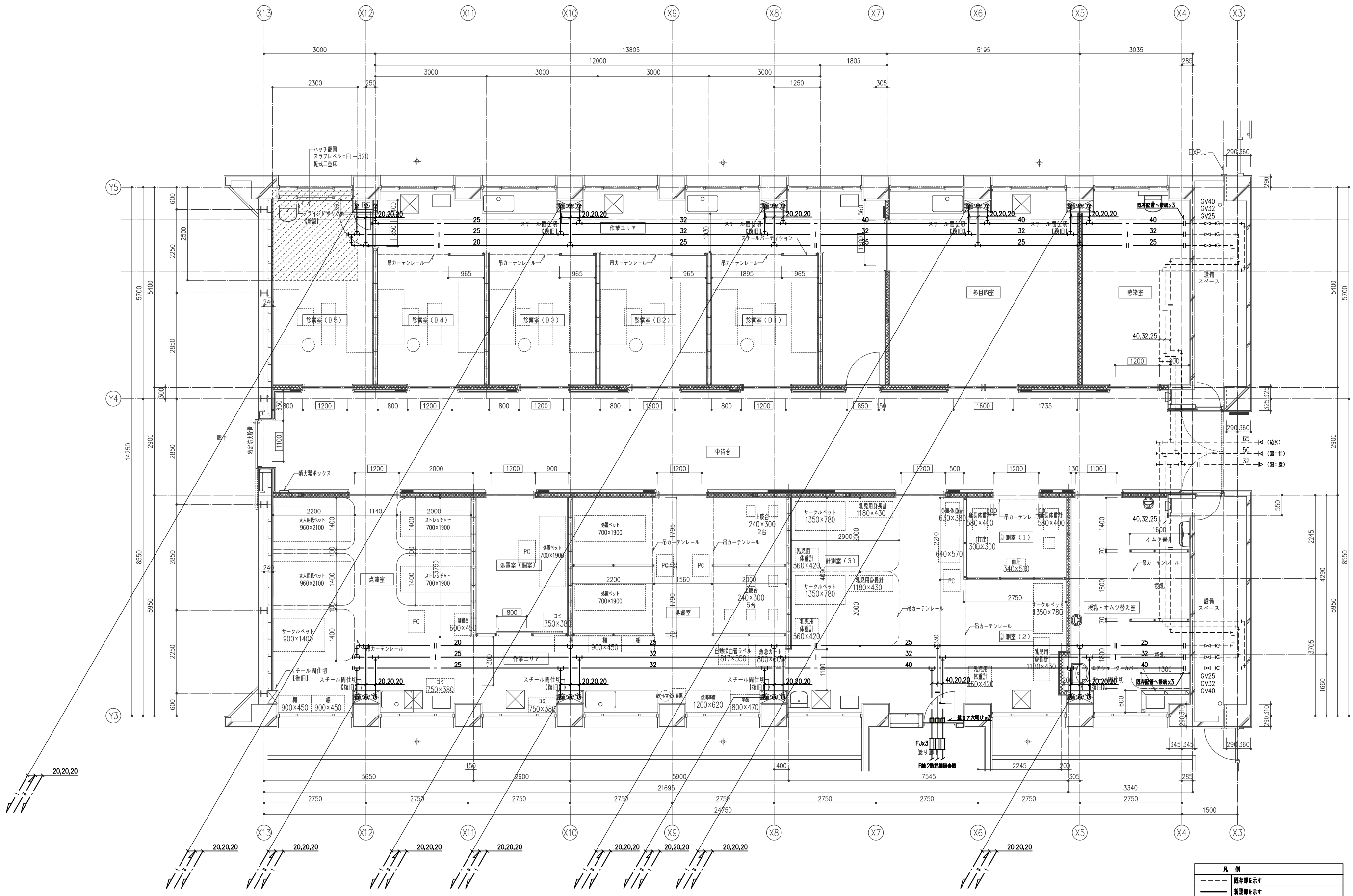


凡 例	
---	既存部を示す
---	新設部を示す
⊗	建築水栓
○	汚水栓

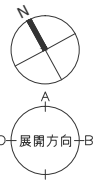
<注記>
1. 床上給水・給湯配管は配管モール（断熱材付き）にて保護を施す。
2. PSから分岐する配管には分岐弁を設ける。



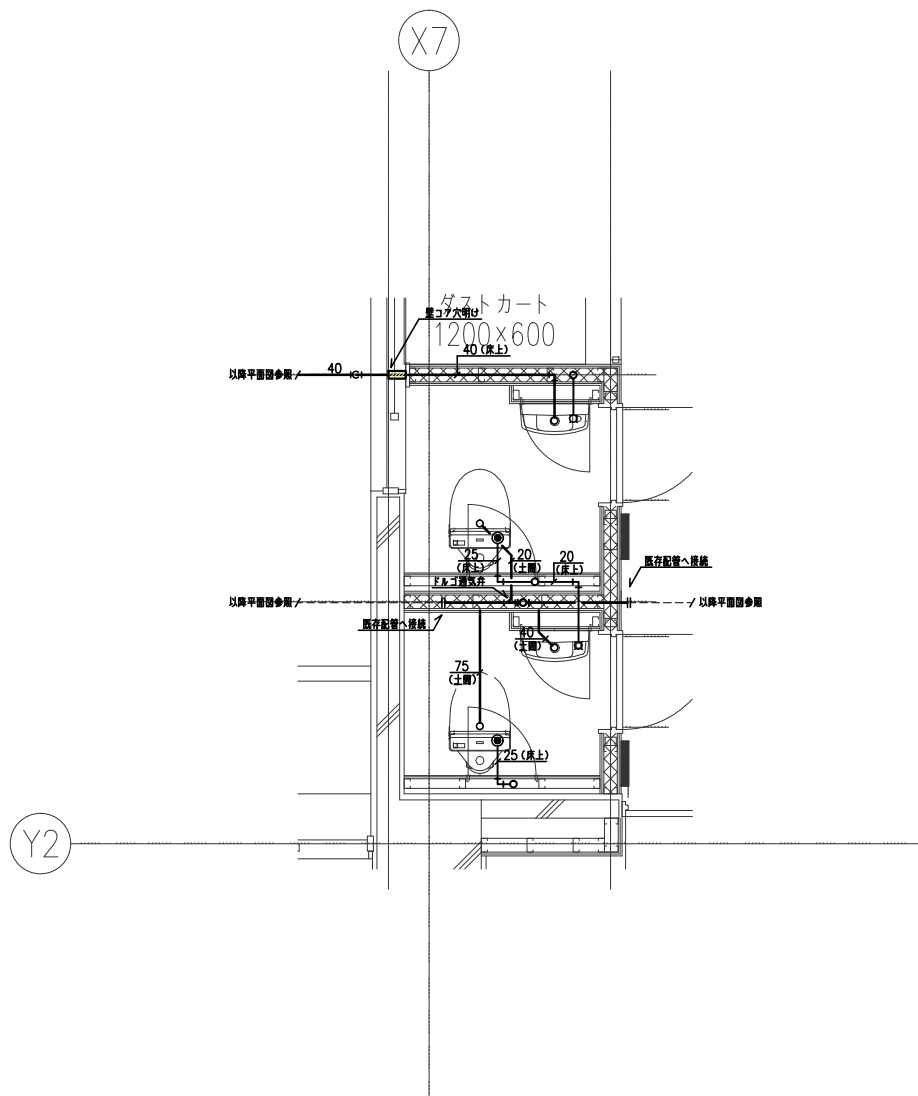
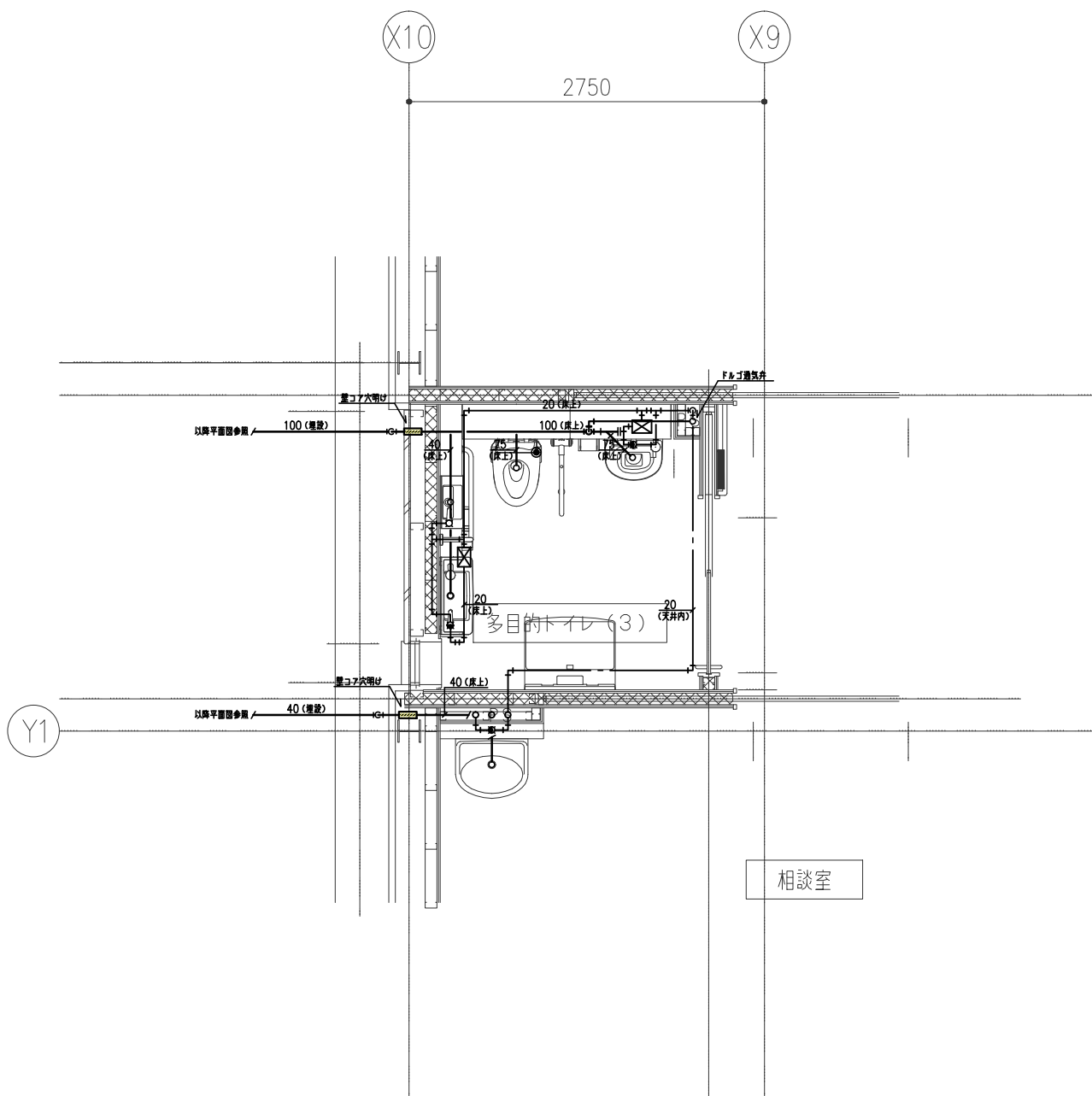
改修



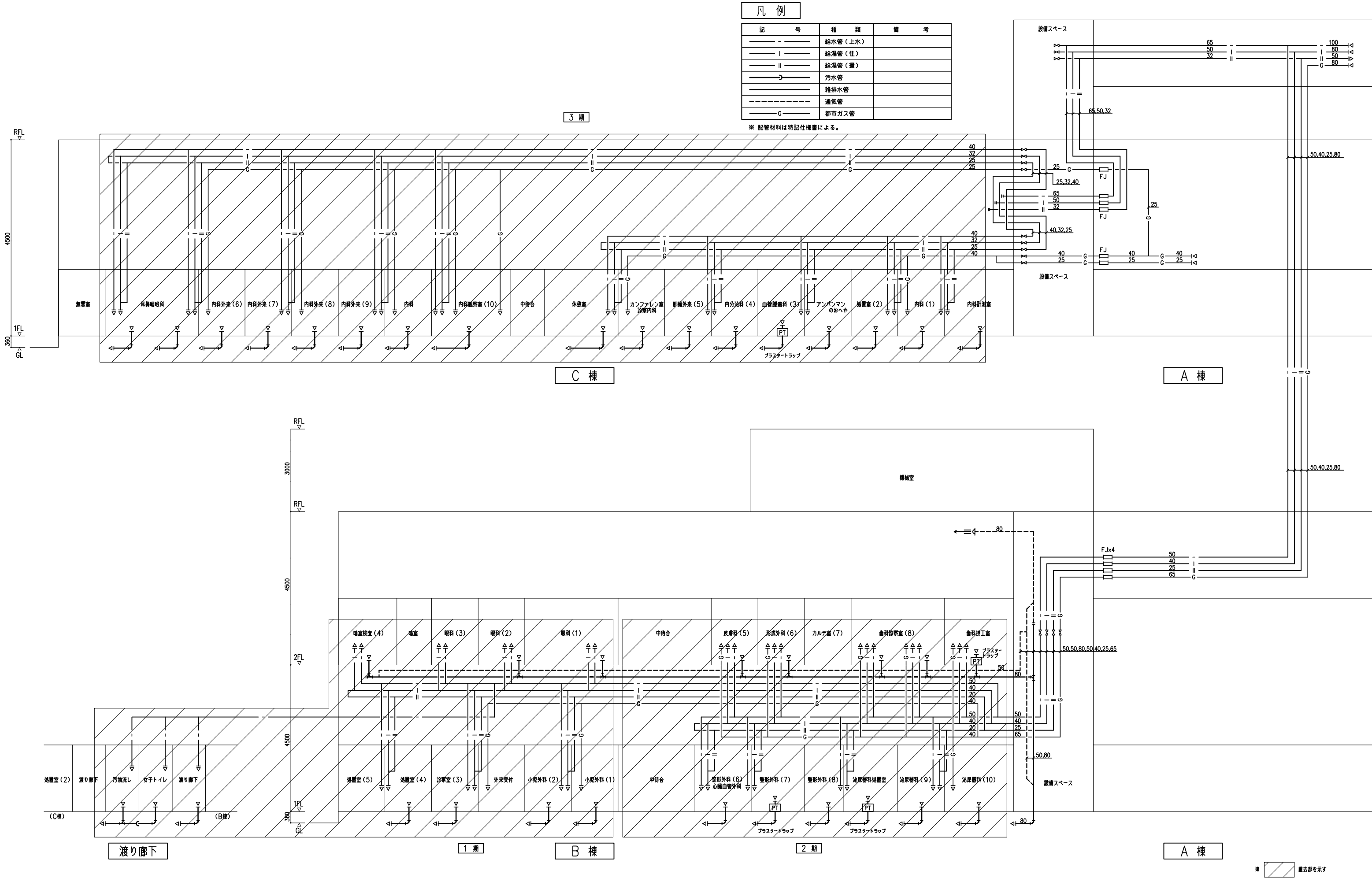
凡 例	
---	既存部を示す
---	新設部を示す

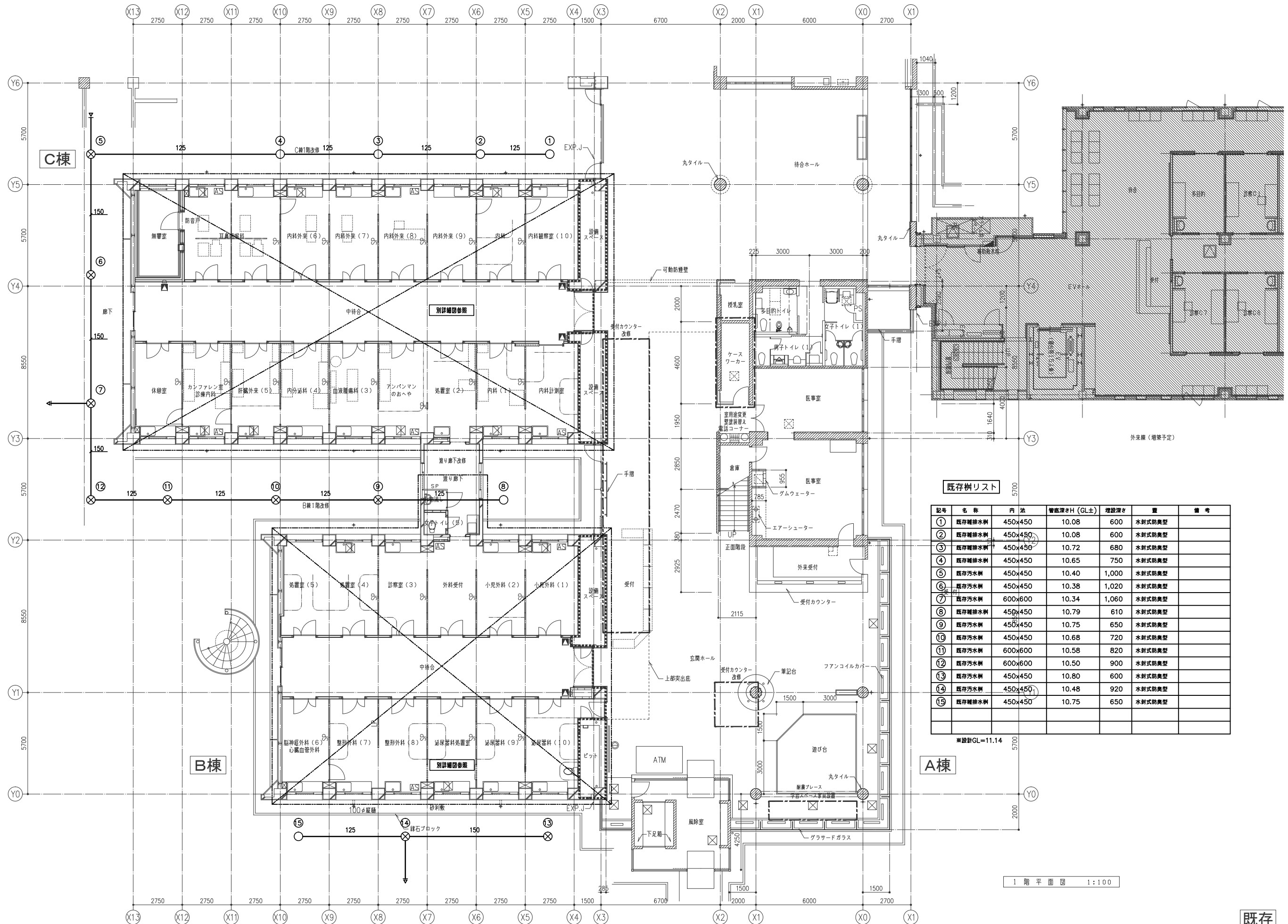
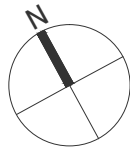


改修



凡 例
----- 既存部を示す
————— 新設部を示す





既存樹リスト

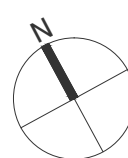
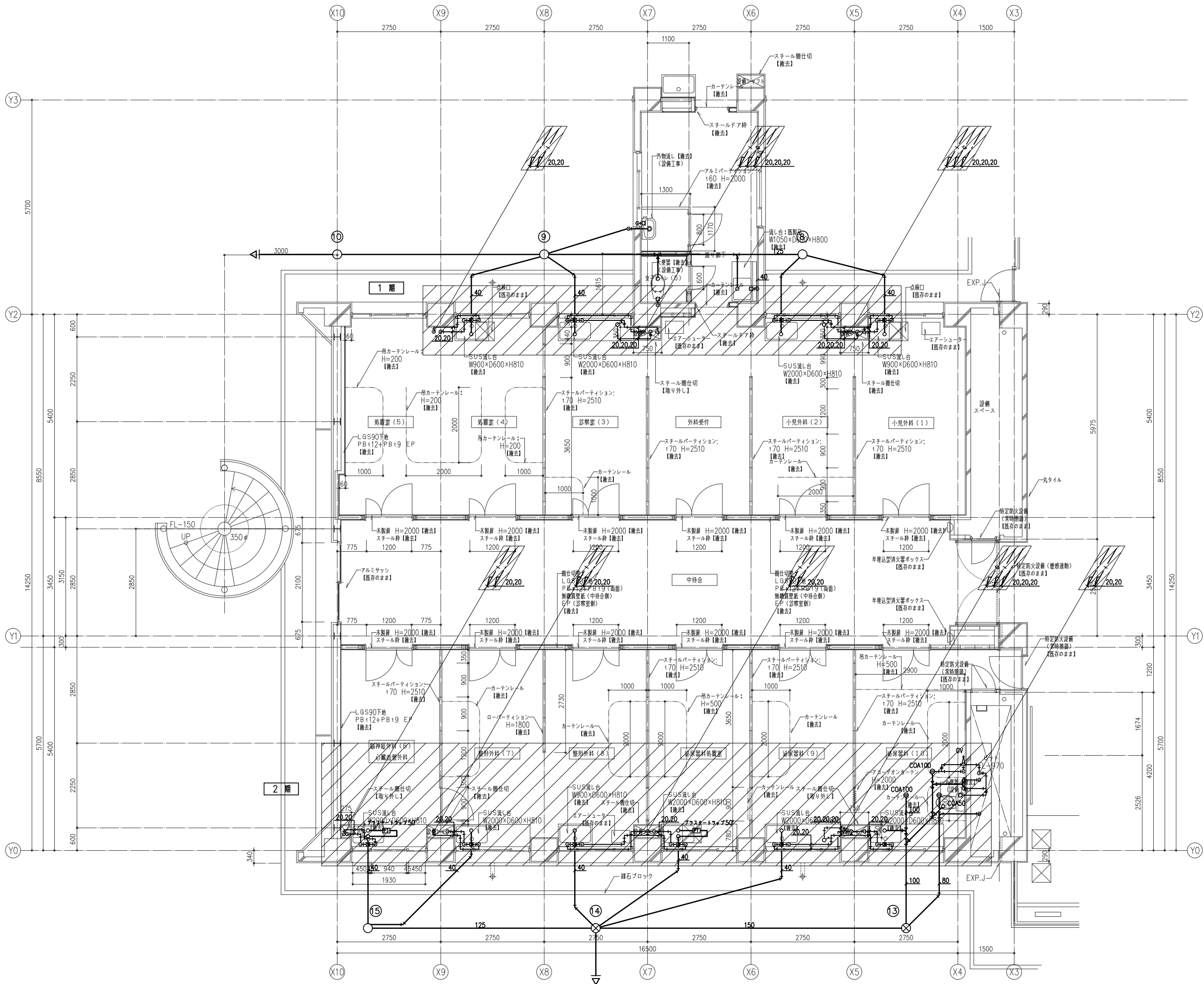
記号	名 称	内 法	管底深さH (GL±)	埋設深さ	管 種	備 考
①	既存雑排水樹	450×450	10.08	600	水封式防臭型	
②	既存雑排水樹	450×450	10.08	600	水封式防臭型	
③	既存雑排水樹	450×450	10.72	680	水封式防臭型	
④	既存雑排水樹	450×450	10.65	750	水封式防臭型	
⑤	既存汚水樹	450×450	10.40	1,000	水封式防臭型	
⑥	既存汚水樹	450×450	10.38	1,020	水封式防臭型	
⑦	既存汚水樹	600×600	10.34	1,060	水封式防臭型	
⑧	既存雑排水樹	450×450	10.79	610	水封式防臭型	
⑨	既存汚水樹	450×450	10.75	650	水封式防臭型	
⑩	既存汚水樹	450×450	10.68	720	水封式防臭型	
⑪	既存汚水樹	600×600	10.58	820	水封式防臭型	
⑫	既存汚水樹	600×600	10.50	900	水封式防臭型	
⑬	既存汚水樹	450×450	10.80	600	水封式防臭型	
⑭	既存汚水樹	450×450	10.48	920	水封式防臭型	
⑮	既存雑排水樹	450×450	10.75	650	水封式防臭型	

※設計GL=11.14

1 階 平 面 図 1:100

既存

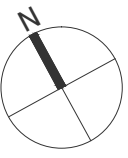
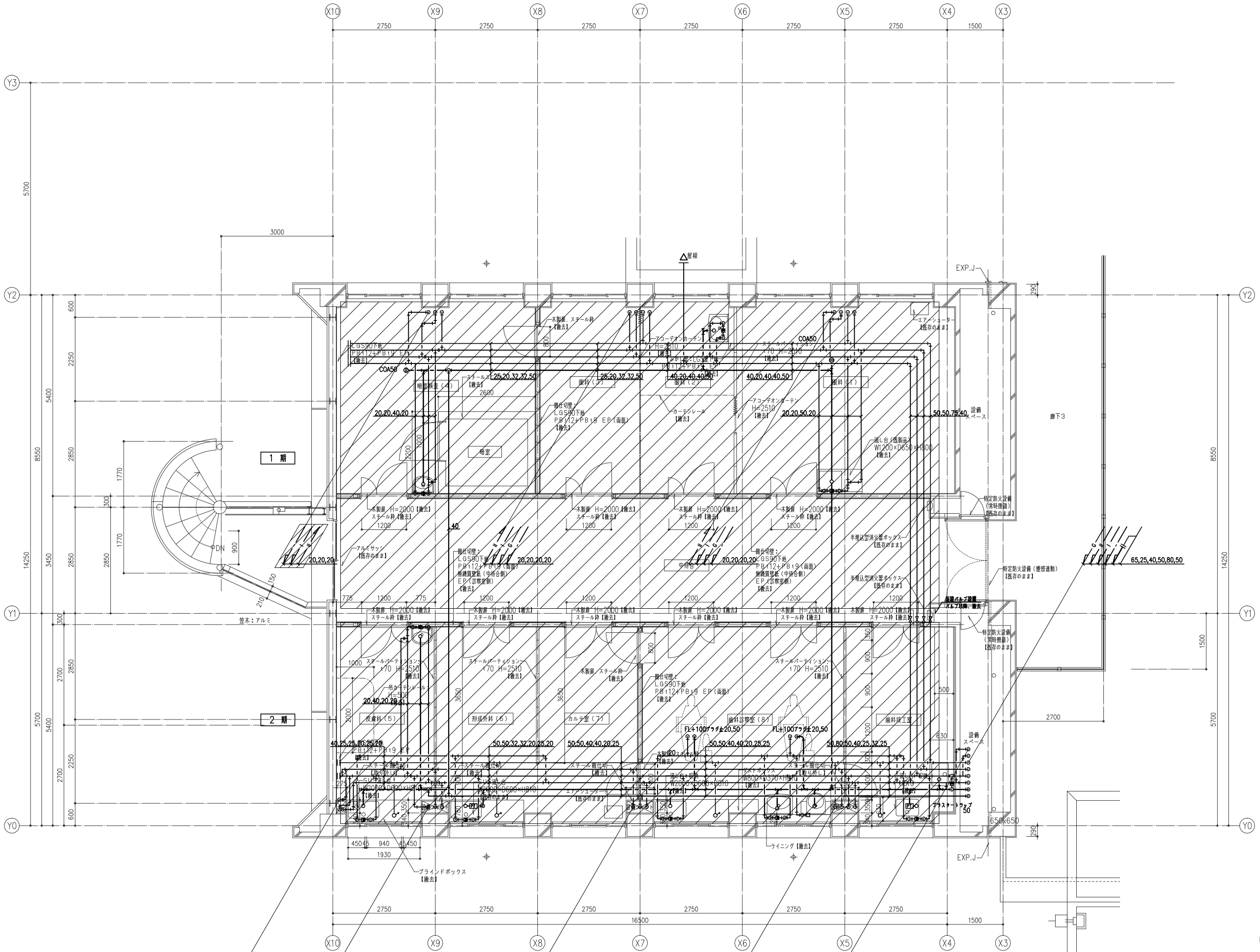




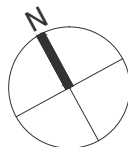
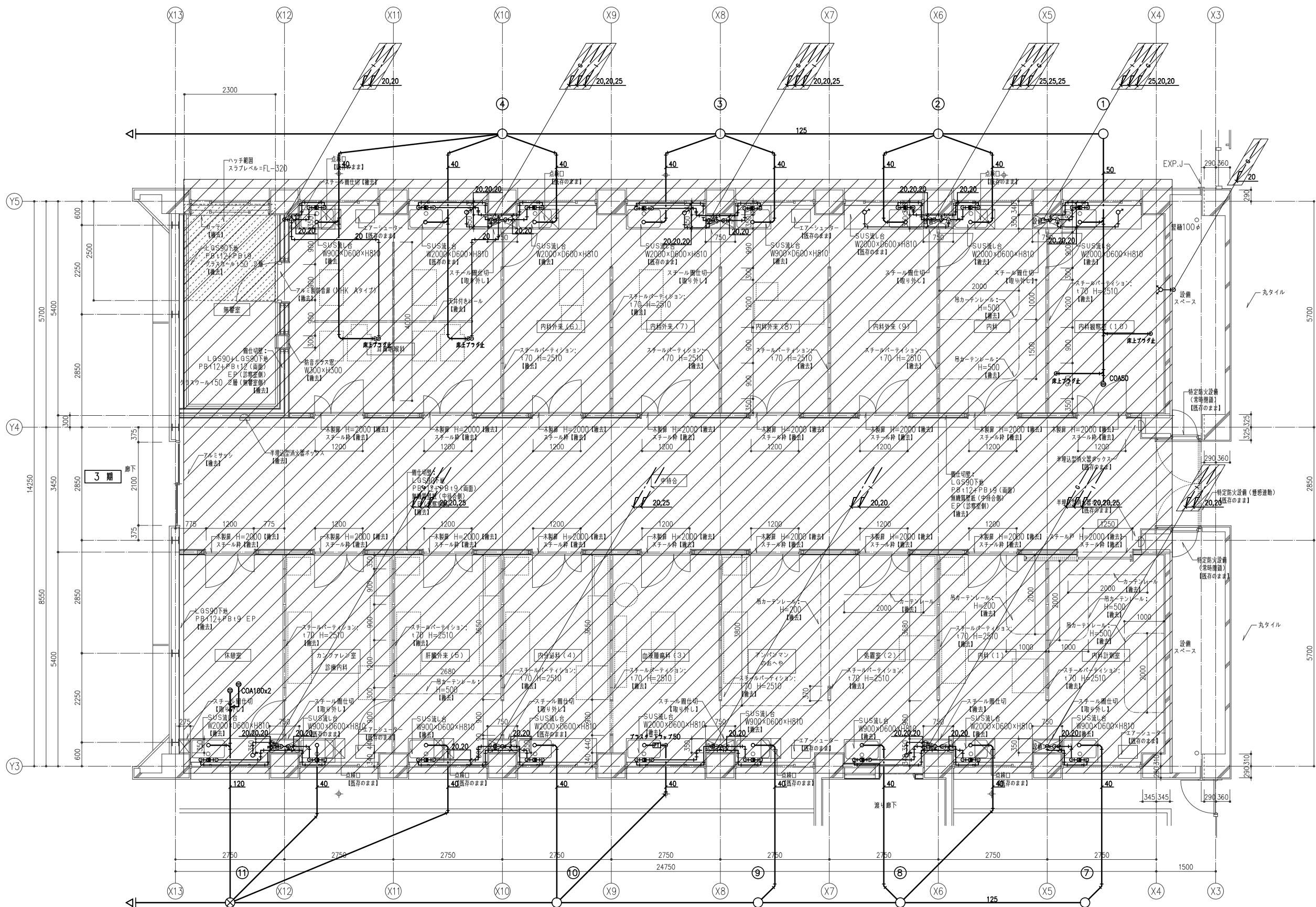
既存

※ 斜線は撤去部を示す。

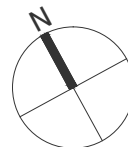
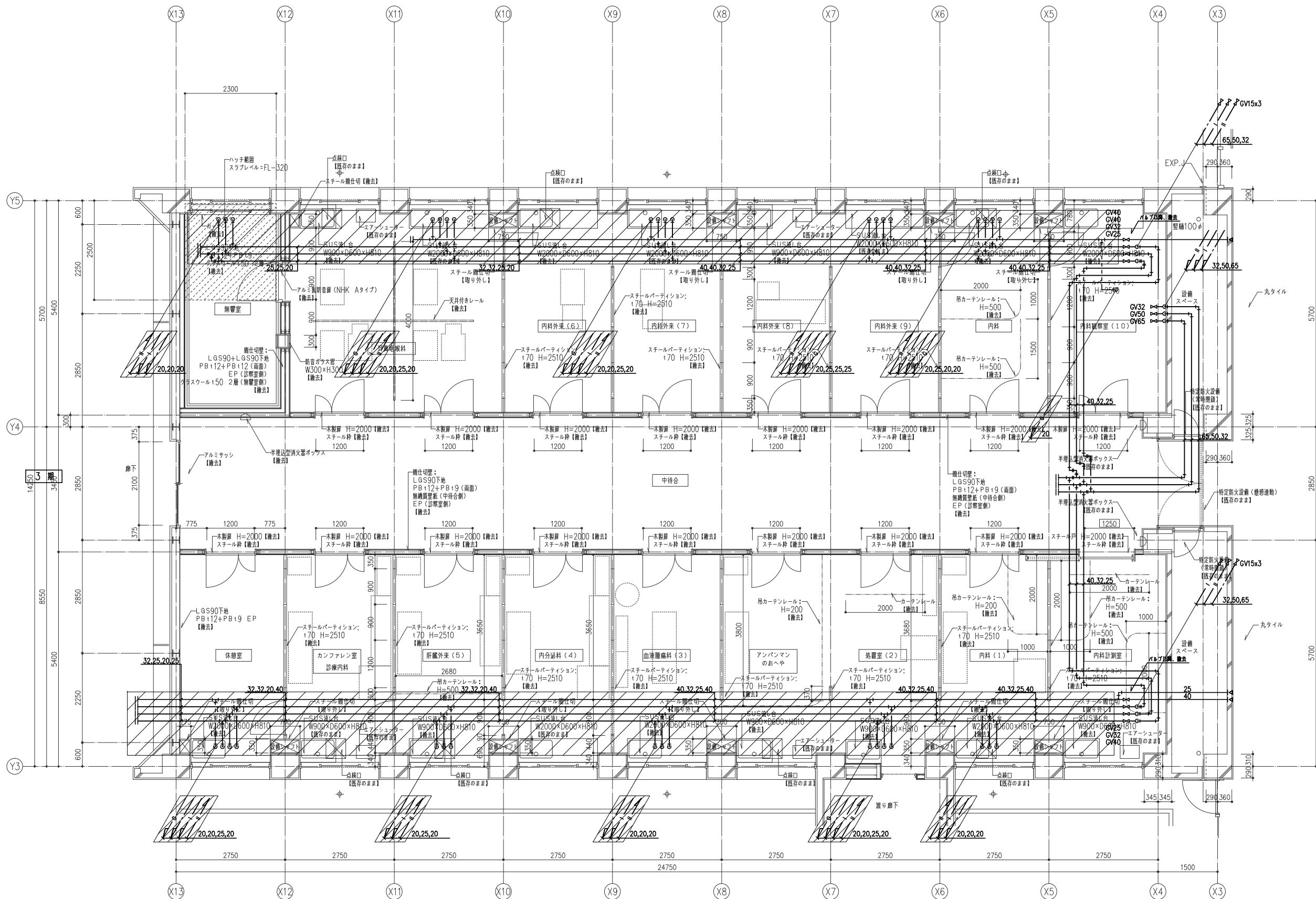
<div><div><div>IHA</div><div>株式会社 日立建設設計</div></div><div>Copyright © 2014 HAE All rights reserved</div></div>	<div>装 複 写 無 断 転 載 禁 止</div>	REVISION	APPD.	CHKD.	DWN.	DATE	JOB.NAME	DWG.NO.
			田中正	中川	吉岡	2014.3.31	静岡県立こども病院外来区域改修工事	P-14
						SCALE 1:50 (A3) 1:100	TITLE 給排水衛生設備 B棟1階詳細図【撤去】	













既存

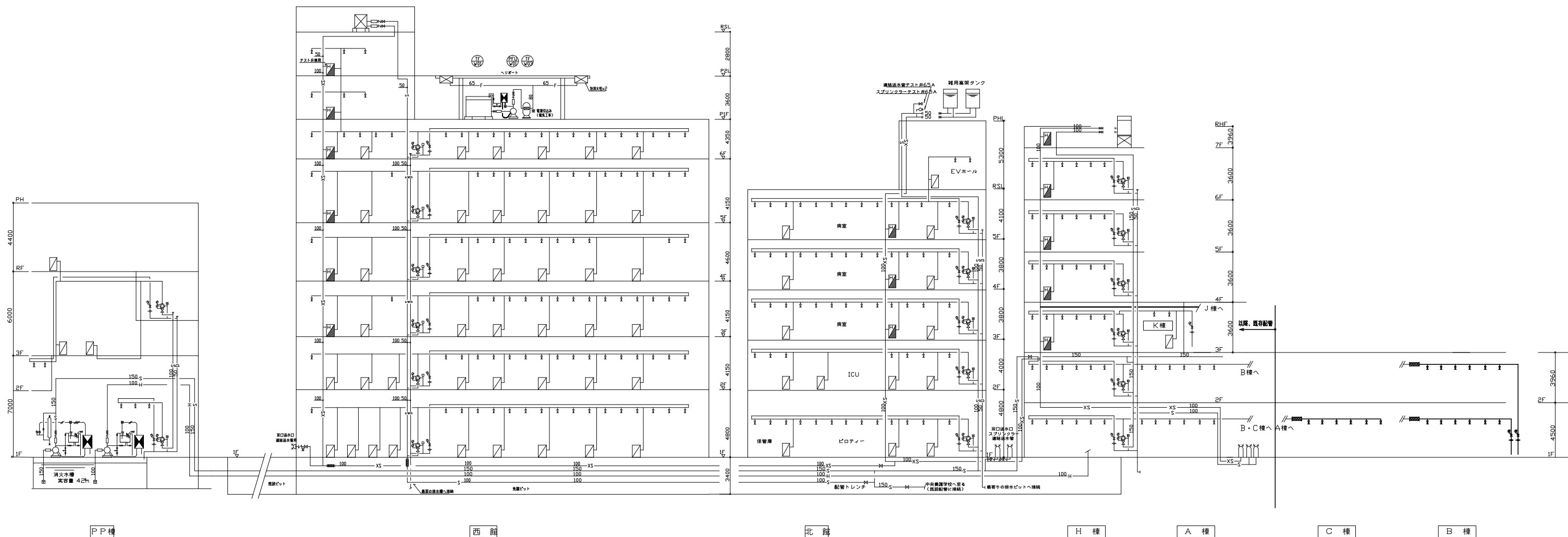


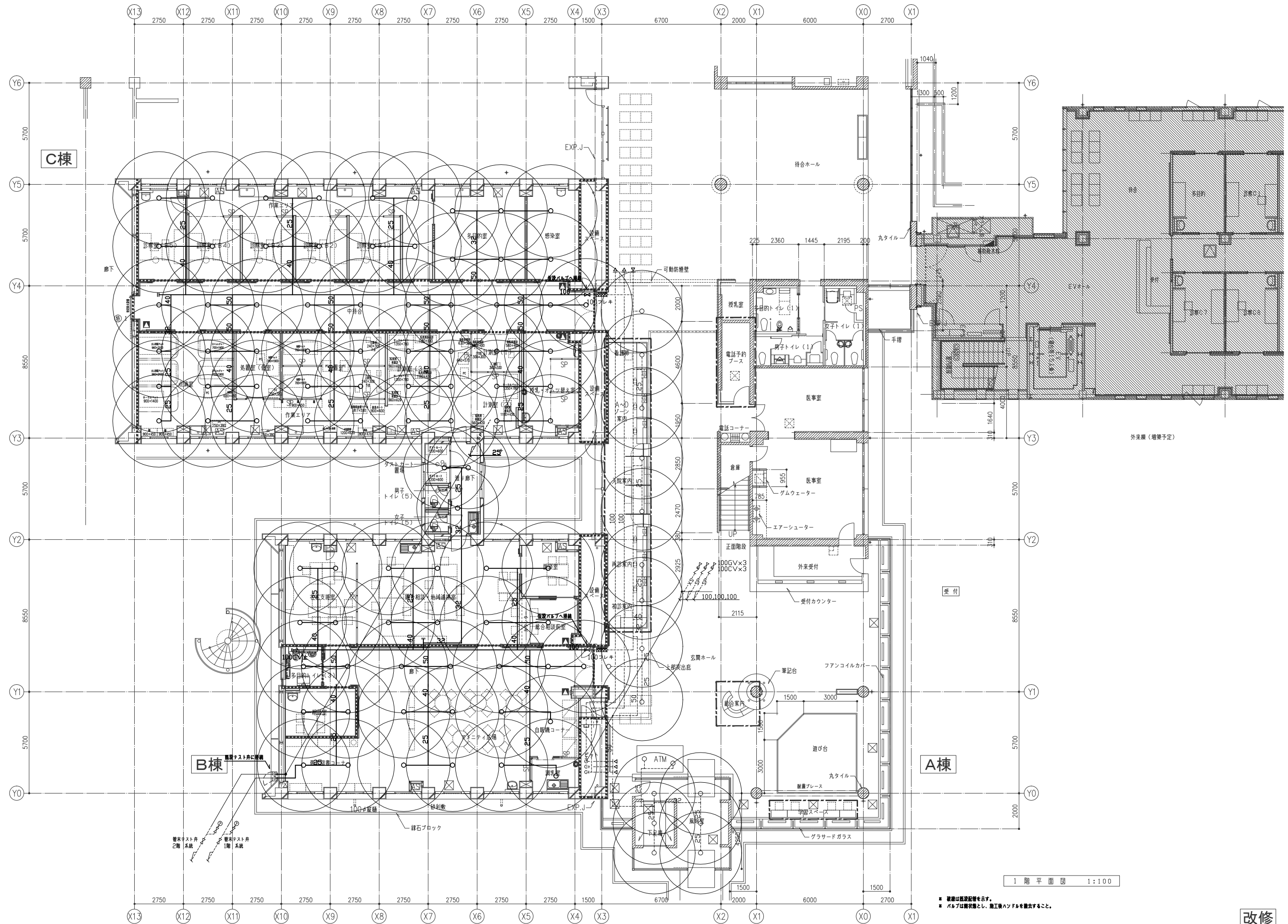
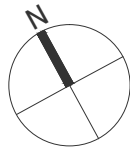
既存



既存

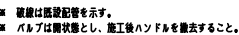
凡例			
記号	名称	備	考
○ ▽	閉鎖型SPヘッド	72℃	●96℃
	アラーム弁	スプリンクラー用 100A	
	仕切弁	JIS-10k	
	逆止弁	JIS-10k	
	圧力計		
	オリフィス		
	フレキシブルチューブ		
	排水口		
—S—	スプリンクラー配管	JIS-G3452 (白)	
—XS—	連絡送水管	JIS-G3454 Sch40 (既設配管の一部JIS-G3452 (白))	
—J—	排水管	JIS-G3452 (白)	
	補助放水栓	25A	
	放水口	65A	
	異外排水口	65A 預けJIS製	





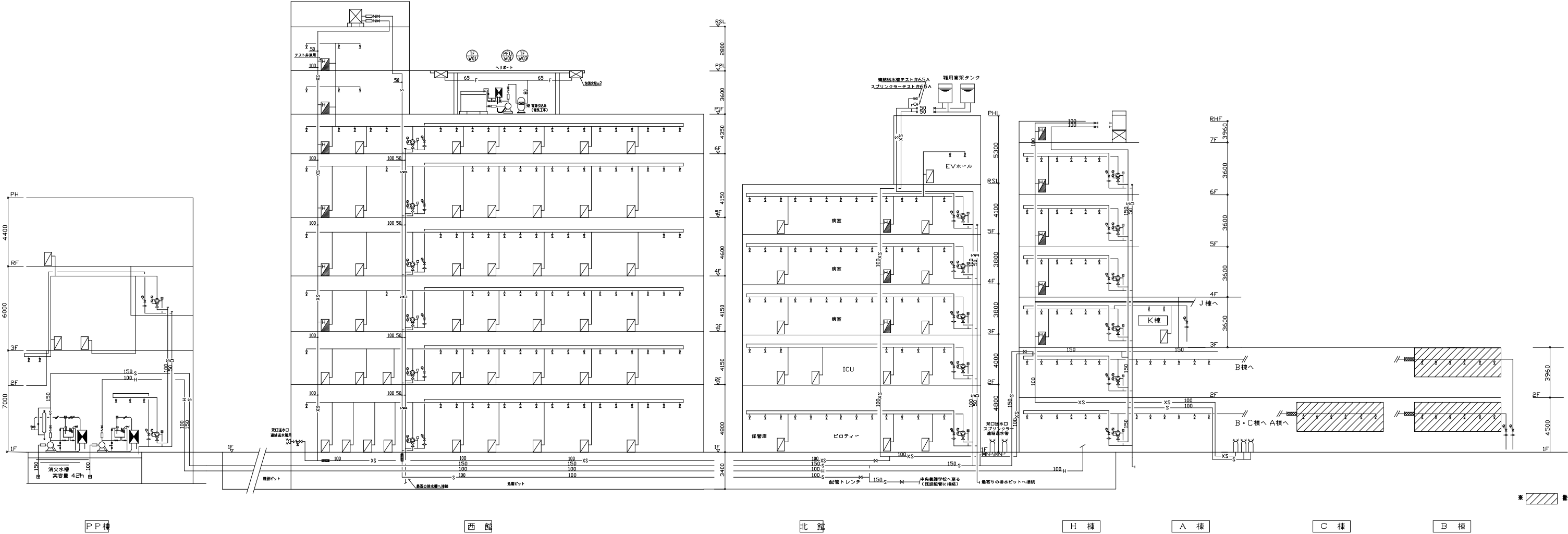
※ 破線は隠配配管を示す。
※ バルブは開状態とし、施工後ハンドルを撤去すること。

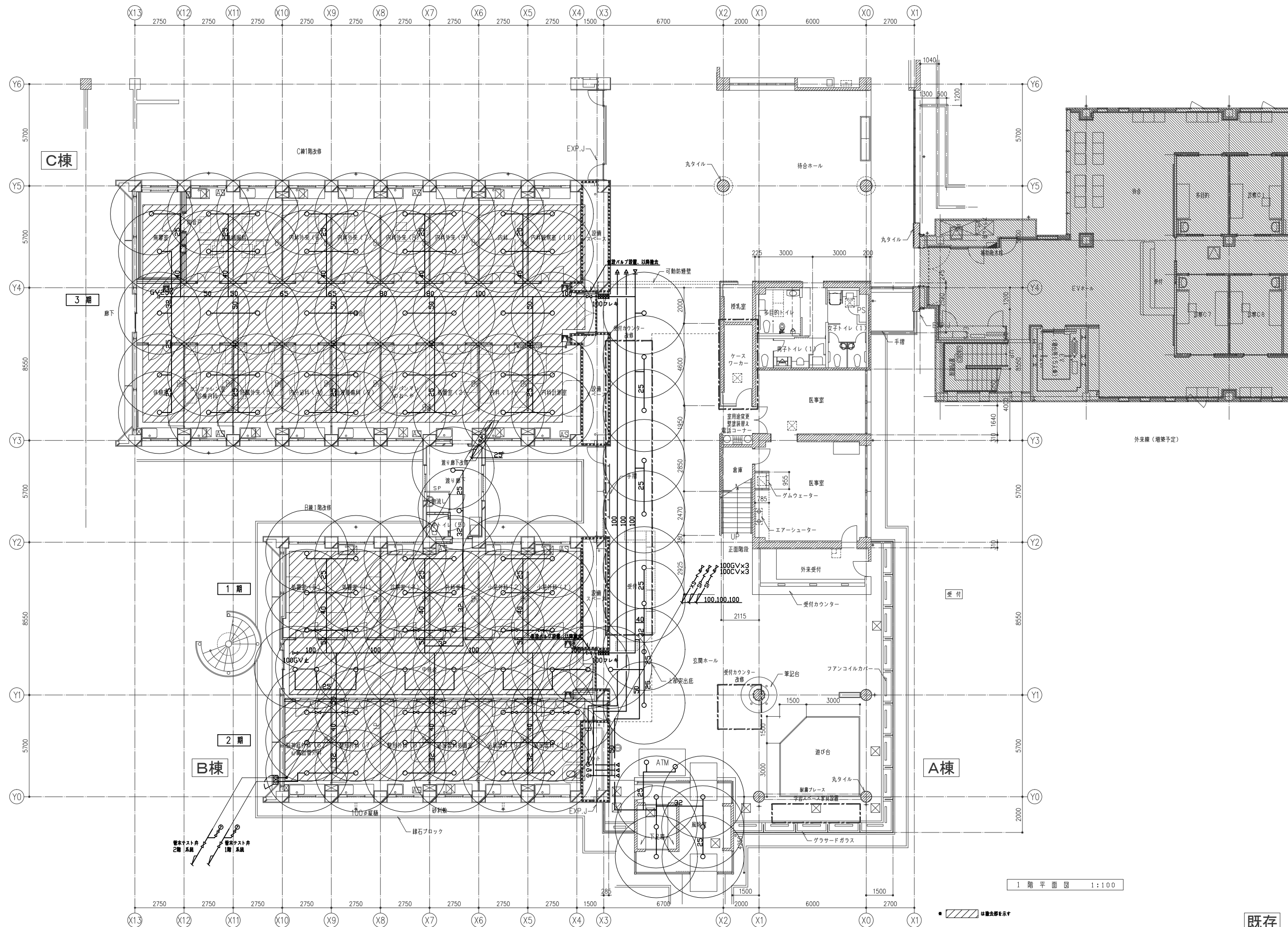
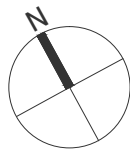
改修



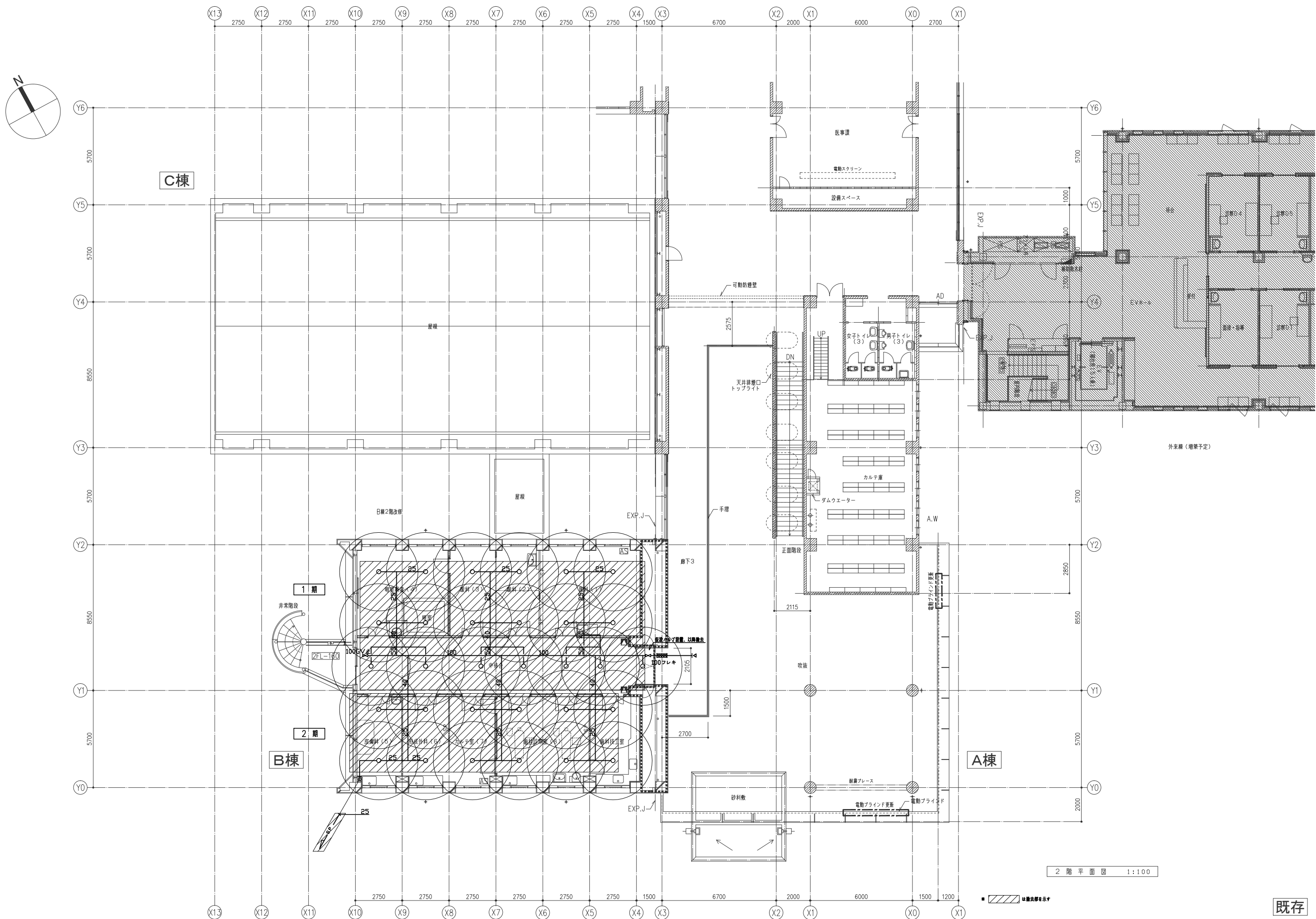
P-20

凡例			
記号	名称	備考	
○	閉鎖型SPヘッド	72℃ ●96℃	
ア	アラーム	井	スプリンクラー用 100A
仕	仕切	井	JIS-10k
N	逆止	井	JIS-10k
圧	圧力計		
オリ	オリフィス		
フレ	フレキシブルチューブ		
送	送水口		
S	スプリンクラー配管	JIS-G3452 (白)	
XS	連絡送水管	JIS-G3454 Sch40 (既設配管の一部JIS-G3452 (白))	
排	排水管	JIS-G3452 (白)	
補助	補助散水栓	25A	
散	散水口	65A	
屋外	屋外消火栓	65A 箱はSUS製	





既存



医療ガス配管設備仕様書

1. 設備概要

1-1 酸素配管設備

酸素の供給は、同一フロア既設主管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へガスを供給する。
供給源は既設を利用する。

1-2 治療用空気配管設備

空気の供給は、同一フロア既設主管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へ供給する。
供給源は既設を利用する。

1-3 吸引配管設備

吸引の供給は、同一フロア既設主管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へ供給する。
供給源は既設を利用する。

1-4 区域別遮断弁（シャットオフバルブ）

区域別遮断弁は、ボックス内に黄銅製ボールバルブを設け、バルブの開閉操作が迅速に出来る構造とする。
取付高は、バルブの中心でFL+1500mmを標準とする。

1-5 配管端末器（アウトレット）

配管端末器はガスの種別による着色が施されていて、保守点検用バルブ機能付きとする。また、異なる種類のガスの誤接続を防止するためのガス別特定の構造とする。
配管端末器の種類は、壁取付型がある。

2. 配管工事

2-1 配管材料

ガスの種類	配 管	継 手 仕 様	備 考
酸素	リン脱酸銅継目無管 (JIS H 3300 C1220T Lタイプ)	左記銅管による形成品 JIS H 3401 銅及び銅合金の管継手	支持金具と銅管が直接接触しないよう 銅管用吊金具を使用する。
治療用空気	ガスの使用区分に応じた着色熱収縮性チューブを 被覆したものとする。	JIS H 3250 銅及び銅合金棒C1100, C3602, C3712, C3771	
吸 引			

2-2 配管の支持間隔

呼称管径（mm）	<20	20～80	>100
支持間隔（m）	1.0 以内	1.0 以内	2.0 以内

曲部及び分岐箇所は必要に応じて支持する。

2-3 配管の識別表示

隠蔽部は着色熱収縮性チューブ被膜銅管を使用する。各識別色は下記による。

配 管	酸素	笑 気	治療用空気	吸 引	窒 素
色 別	緑	青	黄	黒	灰

2-4 配管のろう付け

銅管のろう付け作業は、配管内部の酸化防止措置として、配管内に不活性ガス（窒素ガス）を送気しながら行うものとする。

2-5 配管方式

配管はPS内を除き天井内隠蔽壁内埋込配管とする。

2-6 既設配管への接続

既設配管への接続工事については、事前に供給停止区域、閉止するバルブ、仮設供給方法について打ち合わせをすること。

3. 検 査 ・ 試 験

3-1 配管系統検査

配管工事完了後、各配管ごとに系統に誤りのないことを確認する。

3-2 配管気密試験

気密試験の圧力及び時間は下表による。
但し既設管との接続部は、吸引を除く配管で標準送気圧力での検知液による発泡漏れ試験とし、吸引は煙を吸い込ませる漏煙試験とする。

配 管 名	配管気密試験			総合気密試験（排気を除く）		
	圧 力 MPa	時 間 h	使用ガス	圧 力 MPa	時 間 h	使用ガス
酸素	1	24	窒素又は 清浄な脱脂 空気	0.4	24	窒素又は 清浄な脱脂 空気又は 吸引圧
治療用空気	1	24		0.4	24	
吸 引	0.5	2		-0.05※	2	

※ 試験を陽圧で行うときは、試験圧力を0.1MPaとする。

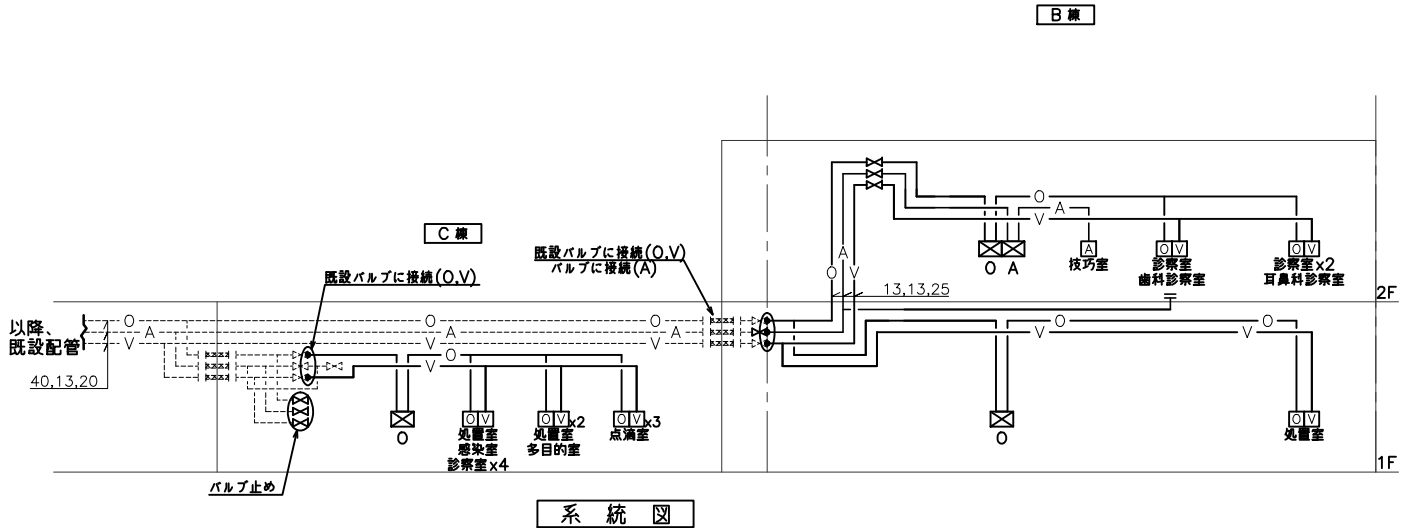
3-3 配管内清浄度検査

施工した配管内に微小物質の有無について検査する。但し、吸引配管は除く。

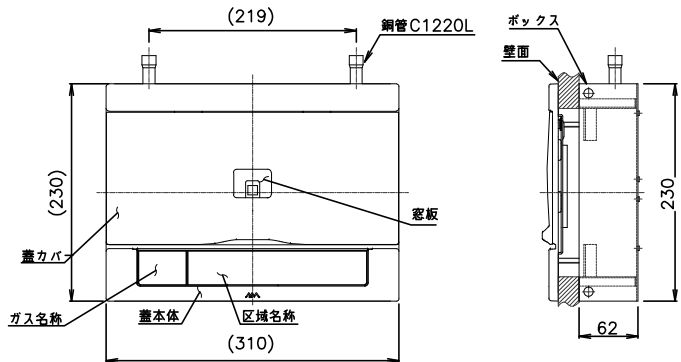
凡 例

記 号	名 称	備 考
☒	区域別遮断弁	埋 込 型
○	酸素壁取付式配管端末器	埋 込 型
A	空気壁取付式配管端末器	埋 込 型
▽	吸引壁取付式配管端末器	埋 込 型
☒	系統バルブ	

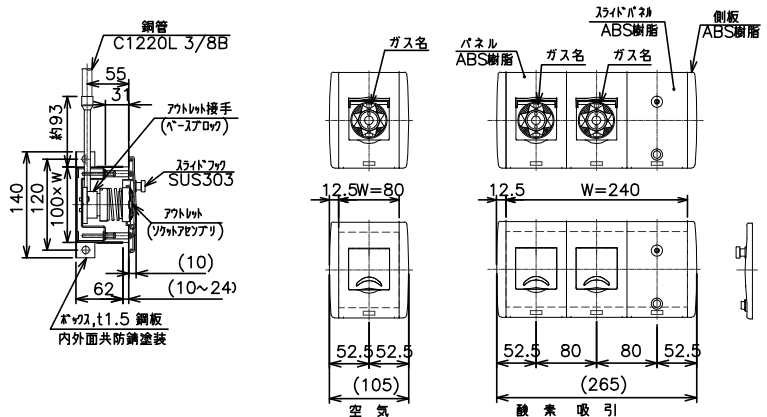
記 号	名 称	備 考
—○—	酸素配管	JIS H3300 C1220T
—A—	空気配管	JIS H3300 C1220T
—▽—	吸引配管	JIS H3300 C1220T
-----	既 設 配 管	

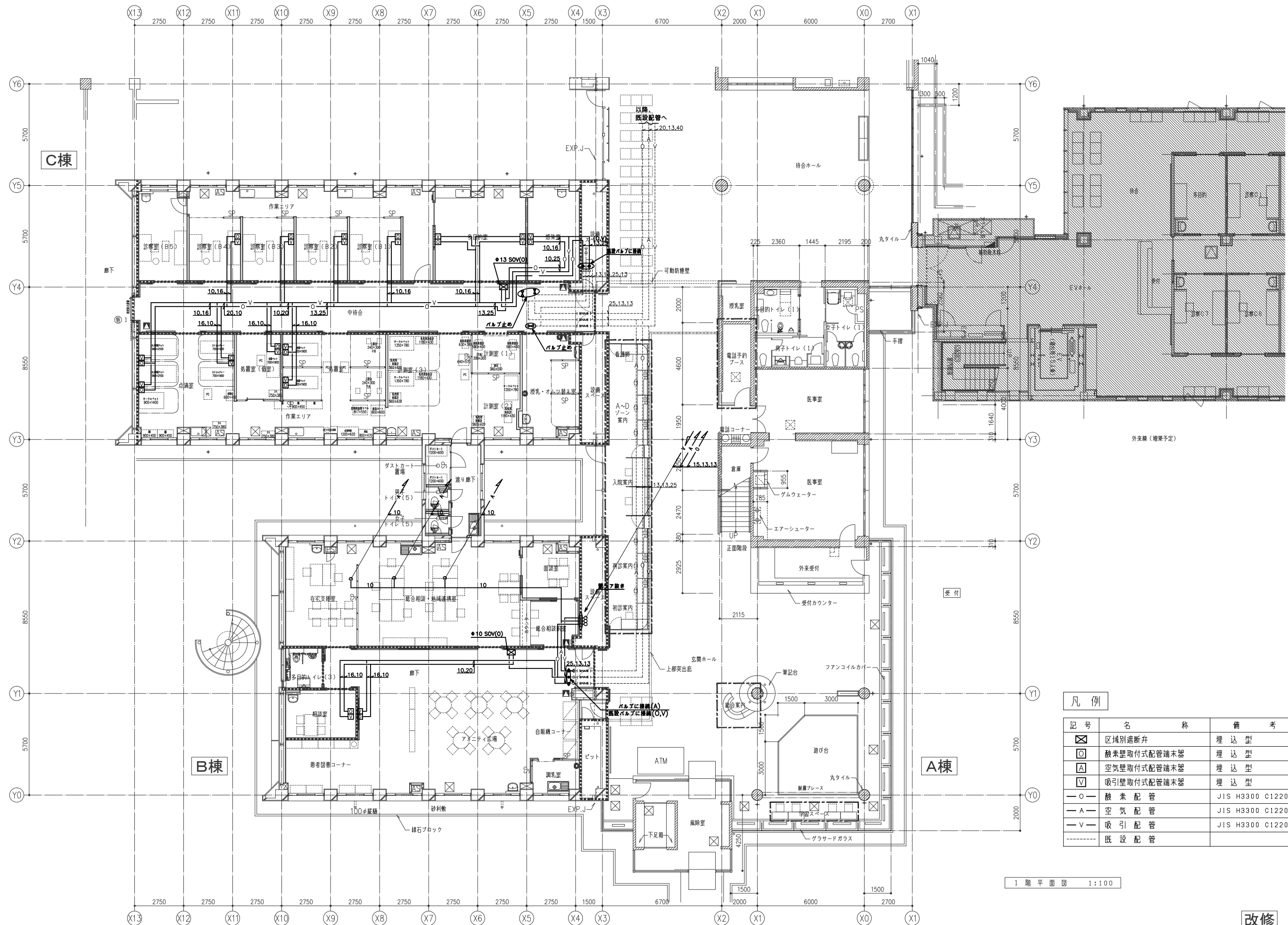
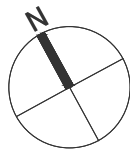


壁埋込型区域別遮断弁



壁埋込型配管端末器



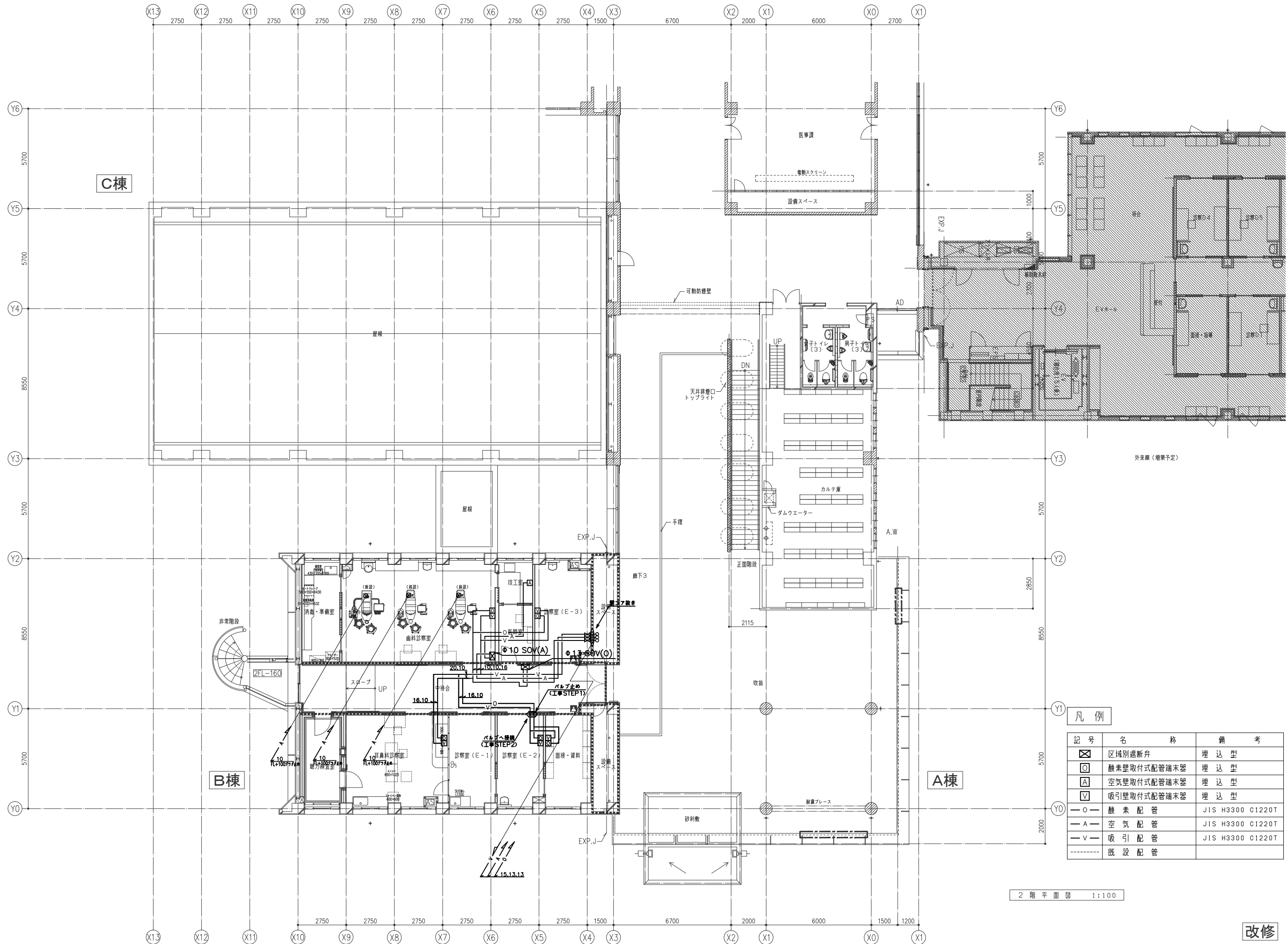
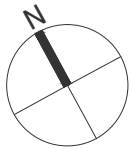


凡例

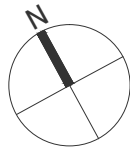
記号	名称	備考
⊠	区域別遮断弁	埋込型
⊡	酸素壁取付式配管端末器	埋込型
⊢	空気壁取付式配管端末器	埋込型
⊣	吸引壁取付式配管端末器	埋込型
—○—	酸素配管	JIS H3300 C1220T
—A—	空気配管	JIS H3300 C1220T
—V—	吸引配管	JIS H3300 C1220T
----	既設配管	

1階平面図 1:100

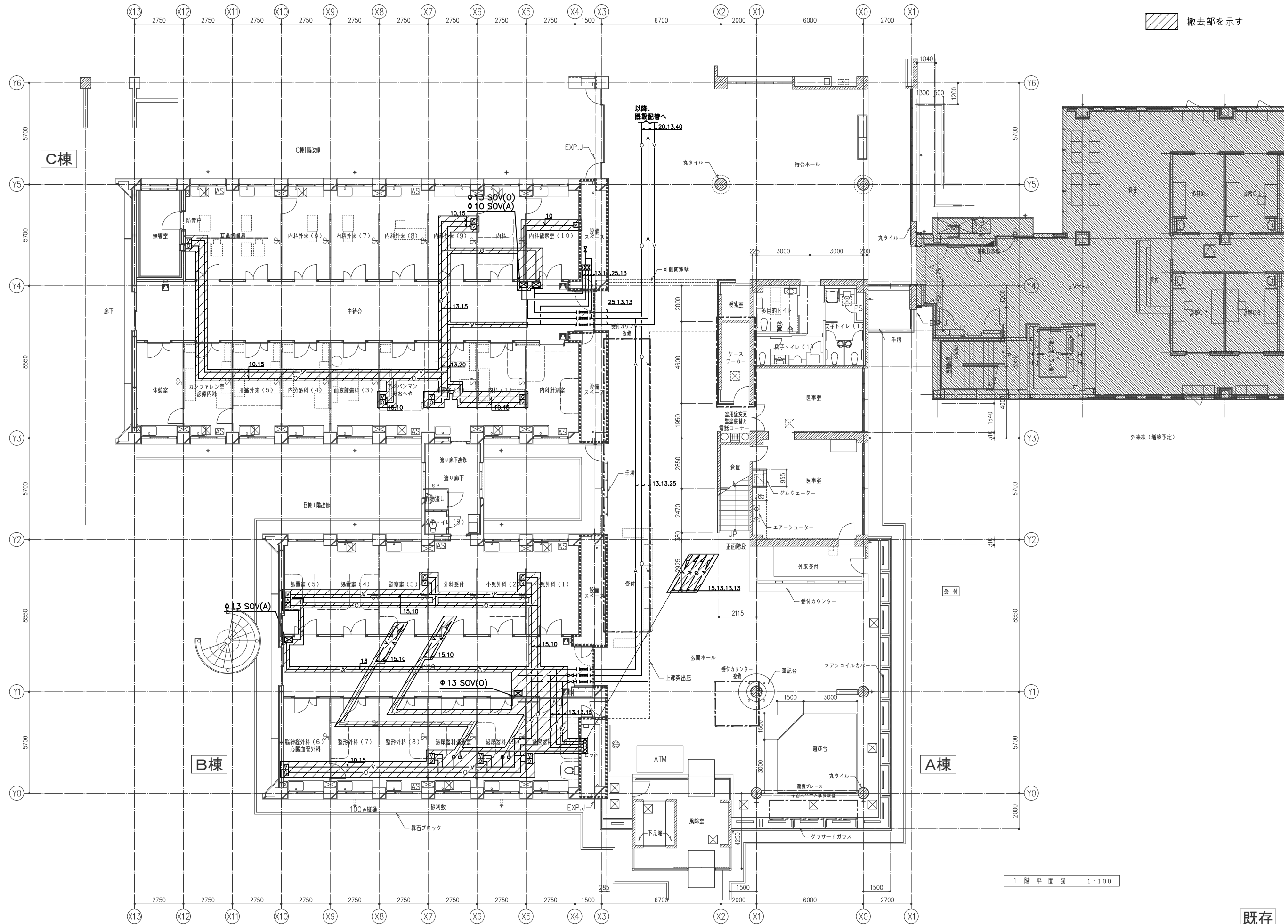
改修



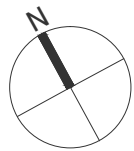
改修




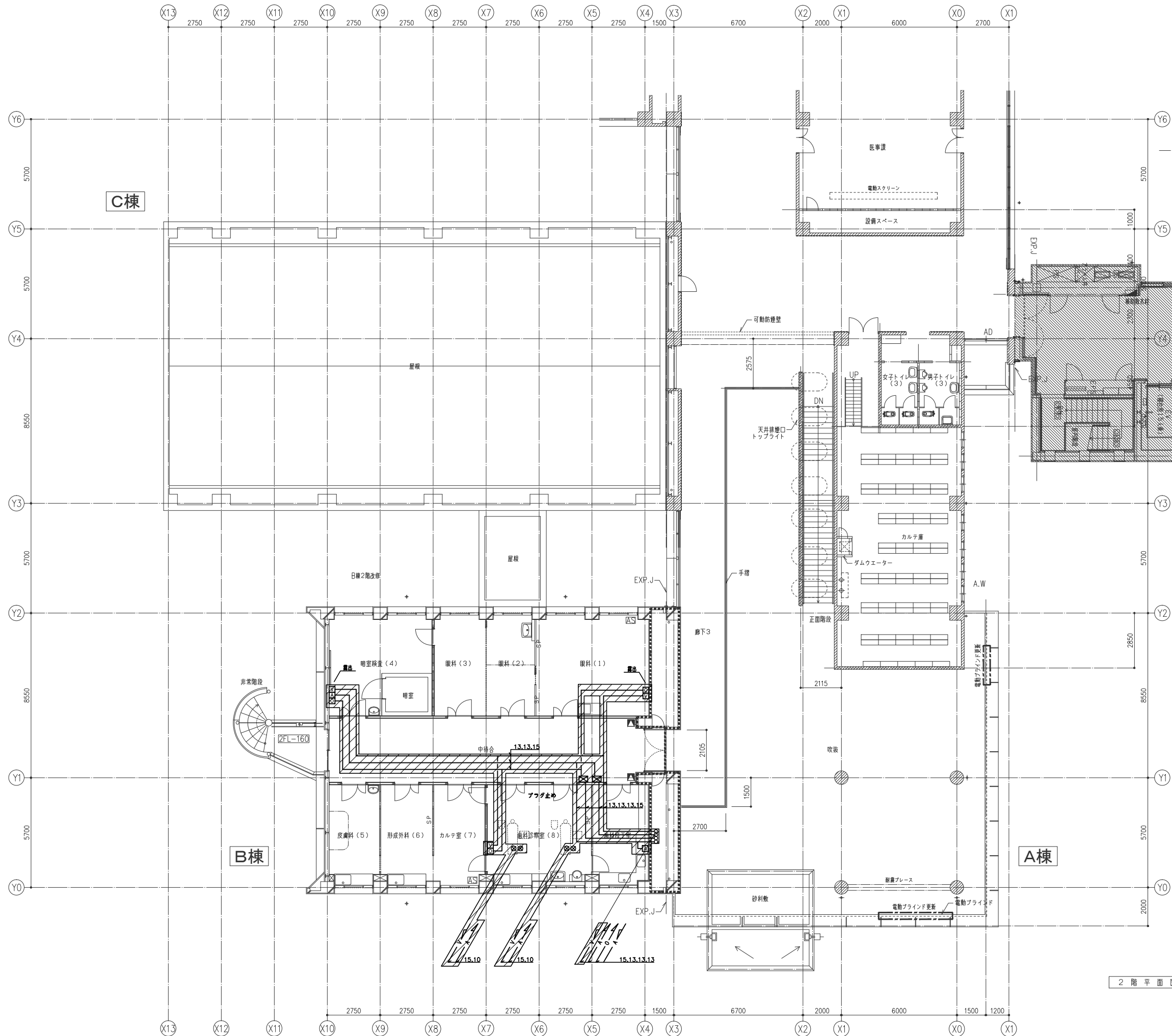
撤去部を示す



既存

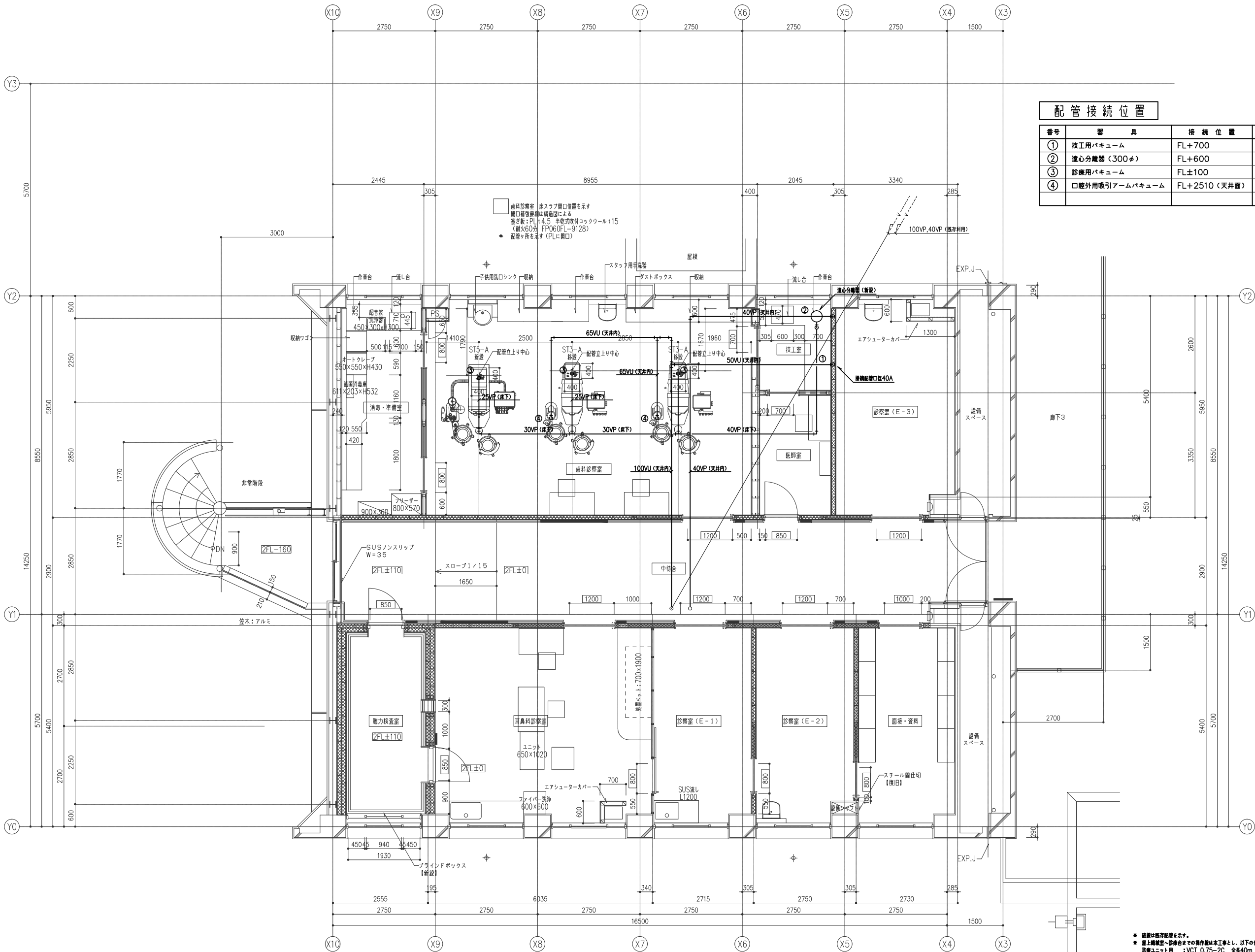


 撤去部を示す



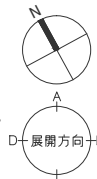
2 階 平 面 図 1:100

既存



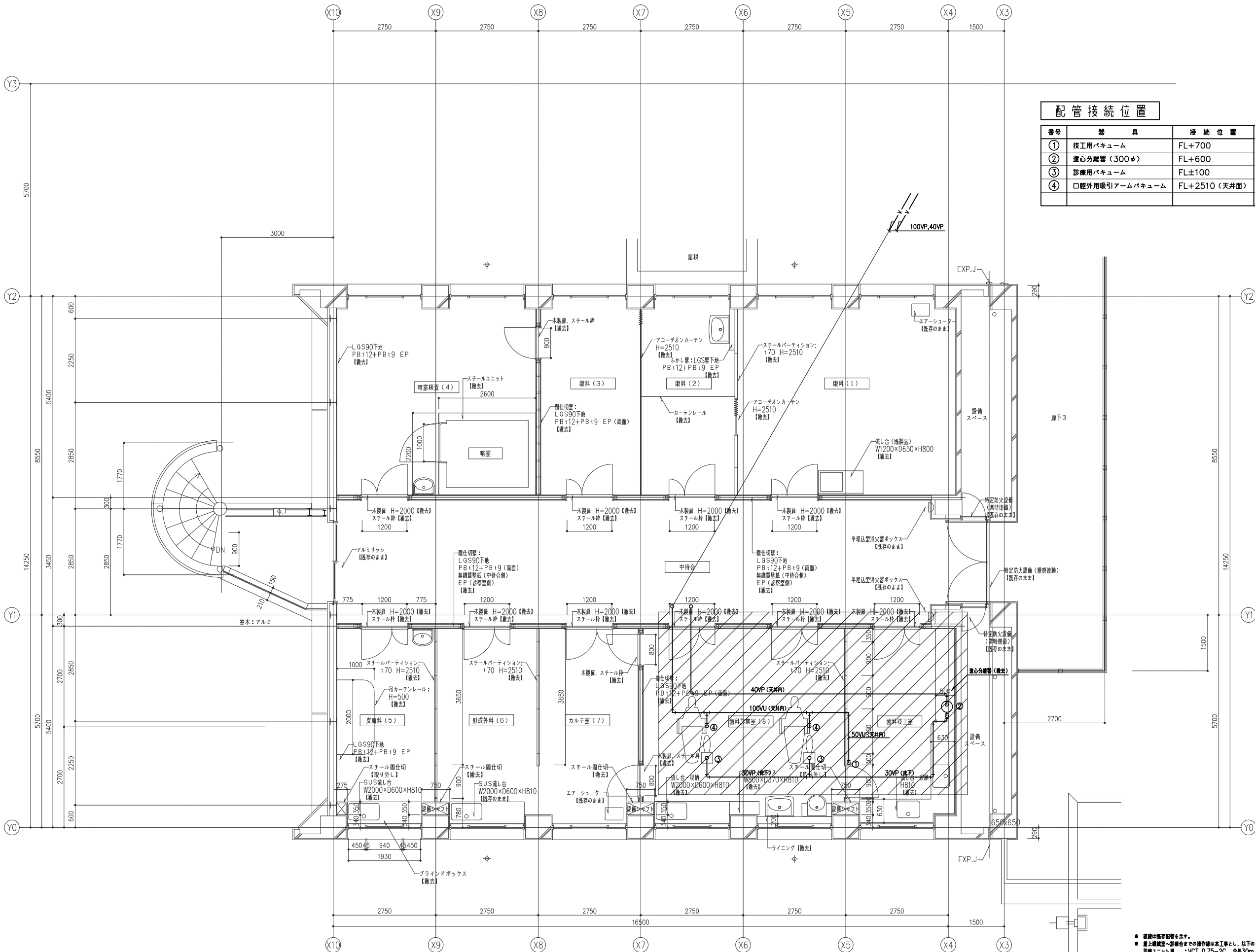
配管接続位置			
番号	器具	接続位置	備考
①	技工用バキューム	FL+700	
②	遠心分離器 (300φ)	FL+600	
③	診療用バキューム	FL±100	
④	口腔外用吸引アームバキューム	FL+2510 (天井面)	

※ 破線は既存配管を示す。
※ 屋上機械室～診療台までの配管線は本工事とし、以下の仕様とする。
診療ユニット用 : VCT 0.75-2C 全長40m
口腔外バキューム用 : VCT 0.75-4C 全長30m



改修





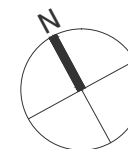
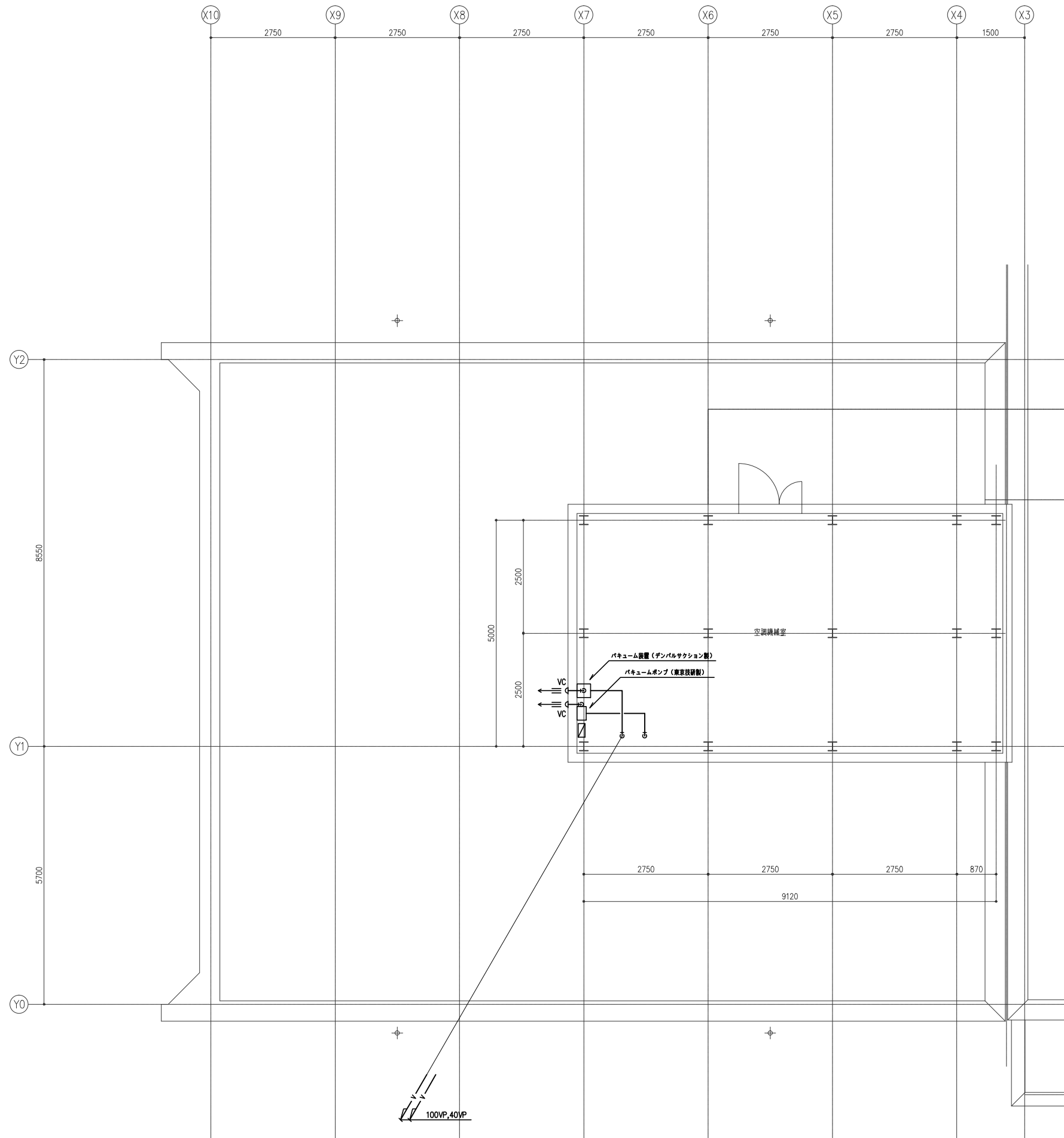
配管接続位置

番号	器具	接続位置	備考
①	技工用バキューム	FL+700	
②	遠心分離器 (300φ)	FL+600	
③	診療用バキューム	FL±100	
④	口腔外用吸引アームバキューム	FL+2510 (天井面)	

※ 破線は既存配管を示す。
※ 屋上機械室～診療台までの操作線は本工事とし、以下の仕様とする。
診療ユニット用 : VCT 0.75-2C 全長30m
口腔外バキューム用 : VCT 0.75-4C 全長20m

※ 斜線は撤去部を示す。

既存



既存

IAE 株式会社 日立建設設計 Copyright © 2014 IAE All rights reserved	REVISION			APPD.	CHKD.	DWN.	DATE	JOB NAME	DWG. NO.
				田中正	中川	吉岡	2014.3.31	静岡県立こども病院外来区域改修工事	P-32
							SCALE 1:50 (A3) 1:100	TITLE 歯科設備 日練R階平面図【撤去】	

